

VIII 教官研究、書籍・研究書の出版

1 研究報告、論文一覧

第1部（法文学系）一覧表

ISSN 0453-0993

自昭和30年度～至平成12年度

年 度	巻号等	執筆者氏名	論 文 内 容
昭和30年 1955年		伊藤 寧	行政犯に於ける法律の錯誤－行政犯に於ける故意と違法性の認識－
		金指 正三	古代航路に関する従来の学説批判
昭和31年 1956年		金指 正三	廻船式目の法源
		杉田 憲治	特別権力関係における司法審査の限界－懲戒処分と司法権の関係－
		伊藤 寧	判例研究（刑事法）－わが領海まで運航して来た貨物を日時を異にし3回に3ヶ所に陸揚した場合の罪数－
昭和32年 1957年		中村 徹	RealistとしてのW.B. Yeats
		杉田 憲治	特別権力関係における基本的人権
		伊藤 寧	共同正犯と従犯の区別に関する一考察
		金指 正三	近世における海難証明制度
		堀内 雅文	和船航海術調査資料（その一）
昭和33年 1958年		伊藤 寧	取締犯（主として海上取締犯）の既遂時期
		山根 正美	船長の在船義務と雇入契約の公認
		杉田 憲治	現行実定行政法における法治主義の貫徹について
		堀内 雅文	和船航海術調査資料（その二）
		金指 正三	倉橋島造船業史料
昭和34年 1959年		永江 新三	大船建造の解禁
		杉田 賢治	表現の自由の制約と違憲審査基準
昭和35年 1960年		飯田 忠雄	取締権の性質とその海上における行使の限界
		杉田 憲治	統治構造における自由主義と民主主義の矛盾－統治行為をめぐる－
		中村 徹	Preliminary Notes to the Study of Donne's Text
		堀内 雅文	和船航海術調査資料（その三）
昭和36年 1961年		飯田 忠雄	戦前におけるわが国の海上保安制度
		杉田 憲治	黙秘権の保障と行政手続－判例の類型的考察－
		伊藤 寧	「許された危険」に関する若干の考察
		平田伊和男	船員の履行補助者についての責任（ドイツ法）
		菅原 清治	ウィラ・キャサーの習作時代
		金指 正三	安芸国・鹿老渡 海事史料
昭和37年 1962年		飯田 忠雄	海上保安制度論
		杉田 憲治	漁業制度における事前手続
		伊藤 寧	出入国管理令第71条にいう「出国することを企てた者」の意義－所謂「企行犯」（Unternehmungsdelikte）に関する一考察－
		阪村 幸男	搜索押収と令状主義（1）
		平田伊和男	イギリス法における自己株式法理の形成
		永江 新三	象山自伝国事歴小考
		中村 徹	G.M.Hopkins 晩年の Sonnets について－Current Language Heightened－
昭和38年 1963年		飯田 忠雄	海上保安制度論（承前）
		杉田 憲治	手続に瑕疵ある漁業免許の効力－都道府県知事と海区漁業調整委員会の権限上の協力関係の一場面－

年 度	巻号等	執筆者氏名	論 文 内 容
		林 久茂	直線基線方式の法理 ―群島への適用について―
		伊藤 寧	出入国管理令第71条にいう「出国することを企てた者」の意義（2）―英米刑法に於ける“Attempt”に関する一考察―
		阪村 幸男	搜索押収と令状主義（2）
		渡辺加藤一	港長制度を中心とした法規等の資料（1）
昭和38年 後期		飯田 忠雄	海上警察権の分析と歴史的観察―海上警察権の研究（1）―
		阪村 幸男	搜索押収と令状主義（3）
		伊藤 寧	過失犯に於ける注意義務違反と結果（1）
		中村 徹	Crashaw の Imagery について
		猪上 良浩	Coleridge の表現の特質―Ancient Mariner の場合―
昭和39年 1964年		飯田 忠雄	海上警察権の法的構造―海上警察権の研究（2）―
		林 久茂	公海上に於ける外国商船に対する干渉〔1〕
		杉田 賢治	行政手続における適法手続の保障―事前手続を中心として―
		伊藤 寧	過失犯に於ける注意義務違反と結果（2・完）
		阪村 幸男	強制捜査と令状主義（1）
昭和40年 1965年		杉田 賢治	米国における行政的召喚令状をめぐる諸問題
		林 久茂	無害通航と沿岸国の権能
		伊藤 寧	交通上正当な危険行為(Die verkehrsrichtige Gefahrhandlung)に関する一考察
		阪村 幸男	強制捜査と令状主義（2）
		中村 徹	Donne の Love Poetry について
		猪上 良浩	コウルリッジの愛の認識について
		飯田忠雄訳編	世界各国の刑法典における海賊行為を処罰する規定
		金指 正三	御前崎海事史料
		渡辺加藤一	港長制度を中心とした法規等の資料（2）
昭和41年 1966年		飯田 忠雄	スパイの刑事責任と刑罰（1）
		伊藤 寧	行政犯における事実の認識の意義
		阪村 幸男	停船権の法理
		杉田 憲治	審議会をめぐる諸問題
		猪上 良浩	S.T.Coleridge の Love Poetry について
		金指 正三	近世海難史料―瀬戸内海編―
昭和42年 1967年		飯田 忠雄	スパイの刑事責任と刑罰（2）
		阪村 幸男	強制捜査と令状主義（3）
		林 久茂	国際航行の法的規制
		野上 鉄夫	イタリア航行法典上の若干の制度（その一）
		杉田 憲治	行政上の強制捜査
		糸藤 洋	Theodore Dreiser の文体―再評価への試み―
昭和43年 1968年		飯田 忠雄	第八北島丸事件の問題点とその裁判に対する批判
		伊藤 寧	所謂信頼の原則の適用に関する一考察
		野上 鉄夫	イタリア航行法典上の若干の制度（その二）
		阪村 幸男	所持品検査の法理
		猪上 良浩	A Study of S.T.Coleridge's Political Consciousness
		杉田 憲治	中華人民共和国における海上運送及び海損事故調査処理等に関する規則
		金指 正三	御前崎の引網出入史料（一）

年 度	巻号等	執筆者氏名	論 文 内 容
昭和44年 1969年		伊藤 寧	危険犯に関する一考察（その1）
		野上 鉄夫	商業過失と航行過失の区別－海法と空法における取扱の差異－
		杉田 憲治	取締りの見地から見た漁業関係法令の構造
		糸藤 洋	SOME CONSIDERATIONS ON SIR THOMAS MORE'S <i>UTOPIA</i>
		猪上 良浩	<i>Christabel</i> : Against the Demon
		金指 正三	御前崎の引網出入史料（二）
昭和45年 1970年	第16巻 第1号	大國 仁	船舶往来妨害罪の罪質
		伊藤 寧	危険犯に関する一考察（その2）
		野上 鉄夫	航空責任試論
		杉田 憲治	取締りの見地からみた漁業関係法令の構造
		糸藤 洋	James Baldwin 論－Baldwin 文学の本質－
昭和45年 1970年	第16巻 第2号	水上 千之	国際連合と植民地住民の人権保護－国連への請願手続を中心として－
		野上 鉄夫	航空責任試論（続）
		糸藤 洋	James Baldwin 再論－史的展望とBaldwin の二元的特質を中心に－
		金指 正三	紀州鵜殿浦文書
		杉田 憲治	武器を誤射した警官の責任－アメリカの判例を中心として－
昭和46年 1971年	第17巻 第1号	伊藤 寧	刑法における社会的相当行為の意義とその機能について
		野上 鉄夫	航空責任試論（続）－その3－
		大國 仁	海難に現れた海上労働の危険性
		水上 千之	国際法の発達における国際連合総会決議の役割（一）
		糸藤 洋	A Reflection on Our Approach to American Literature
		金指 正三	御前崎の引網出入史料（三）
昭和46年 1971年	第17巻 第2号	野上 鉄夫	航空責任試論－その4－
		水上 千之	国際法の発達における国際連合総会決議の役割（二）
		伊美 克己 廣瀬 肇	海洋汚染防止法の問題点＜その一＞＝海洋の汚染の防除のための措置について＝
		猪上 良浩	ワーズワスとコウルリッジ－ワーズワスの詩的特質－
		大國 仁	刑事判例研究〔1〕刑法第36条第1項にいう「己ムコトヲ得サルニ出テタル行為」の意義
		糸藤 洋	エスペラントと英語
		杉田 憲治	中華民国の『漁業法』
		金指 正三	那智勝浦史料
昭和47年 1972年	第18巻 第1号	杉田 憲治	公安職員の武器使用をめぐる若干の法律問題
		糸藤 洋	Robert Penn Warren の批評態度
昭和47年 1972年	第18巻 第2号	水上 千之	国際法の法典化（一）－1930年ハーグ国際法典編纂会議の教訓－
		廣瀬 肇	油による海洋の汚染と合衆国水質改善法について
		大國 仁	船員法第13条と保護責任－刑法第218条にいわゆる保護責任の根拠をめぐる若干の疑問－
		伊藤 寧	自手犯（その一）
		糸藤 洋	亜米利加海洋小説事始－Fenimore Cooper の <i>The Pilot</i> をめぐって－
		杉田 憲治	中華人民共和国人民警察条例及び中華人民共和国治安管理处罰条例

年 度	巻号等	執筆者氏名	論 文 内 容
昭和48年 1973年	第19巻 第1号	水上 千之	国際法の法典化（二）－1930年ハーグ国際法典編纂会議の教訓－
		伊藤 寧	自手犯（その二）
		猪上 良浩	ワーズワスと現代
		杉田 憲治	中華人民共和国対外国籍船舶進出港口管理辦法ほか三法令
		糸藤 洋	「体験話法」研究資料（その一）
昭和48年 1973年	第19巻 第2号	廣瀬 肇	立入検査と憲法第35条
		伊藤 寧	自手犯（その三）
		水上 千之	海洋汚染防止に関する諸条約の概要
		糸藤 洋	「体験話法」研究資料（その二）
昭和49年 1974年	第20巻 第1号	水上 千之	海洋投棄の国際的・国内的規制について
		猪上 良浩	「嵐ヶ丘」の世界
		糸藤 洋	「体験話法」研究資料（その三）
昭和49年 1974年	第20巻 第2号	伊藤 寧	危険行為における未必の故意
		大國 仁	海洋汚染規制諸法の罰則適用上の関係－罪数の問題を中心として－
		糸藤 洋	Melville の <i>Redburn</i> －アメリカ人の自己認識に関連して－
		島田 兵二	最近の海上保安大学校本科卒業生の資質と生活指導－アンケート調査による－
昭和50年 1975年	第21巻 第1号	小林 迪雄	廃船の規制について
		伊藤 寧	推定的同意による行為と許された危険について（その1）
		廣瀬 肇	行政行為の附款について
昭和51年 1976年	第22巻 第1号	伊藤 寧	推定的同意による行為と許された危険について（その2）
		廣瀬 肇	合衆国港湾及び航路安全法に関する一考察
		村上 暦造	アメリカ合衆国における水汚染規制法とエンフォースメントの手段（I）
昭和52年 1977年	第23巻 第1号	廣瀬 肇	海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律にいわゆる「航行中」の意義について
		村上 暦造	“西ドイツにおける水及び船舶航行行政”（Wasser und Schifffahrtsverwaltung）（I）
		柿元 純男	関税構造と保護－有効保護理論の展望－
		日下 明男	海事用語等の由来の研究（その1）
		糸藤 洋	Robert Penn Warren 研究・補遺
		伊藤 寧	漁船第12昭和丸事件
昭和52年 1977年	第23巻 第2号	大國 仁	無線通信の傍受と犯罪捜査
		國司 彰男	海上警備上の強制的処分権について・・・特に庁法第18条に関連して・・・
		村上 暦造	アメリカ合衆国におけるシビルペナルティー行政強制の一態様－
		猪上 良浩	K.マンスフィールドの「父」と「神」について
昭和53年 1978年	第24巻 第1号	ワルター・ドルフ 伊藤 寧 廣瀬 肇 村上 暦造	新海洋国際法
		糸藤 洋	Robert Penn Warren の <i>Meet Me in the Green Glen</i>

年 度	巻号等	執筆者氏名	論 文 内 容
		柿元 純男	PATTERNS OF TRADE AND VARIABLE LABOR SUPPLY
		大國 仁	刑事判例研究 差押手続に違法があるが証拠能力に影響がないとされた例
		村上 暦造	アメリカ合衆国漁業保存管理法とエンフォースメントの手段
昭和53年 1978年	第24巻 第2号	日下 明男	1972年の国際海上衝突予防規則における米国の特別規則の影響
		猪上 良浩	ハーディの戦争詩について
		柿元 純男	有効保護理論の展望
		國司 彰男 廣瀬 肇 村上 暦造	アメリカ合衆国コーストガード組織マニュアル（抄訳）（その1）
昭和54年 1979年	第25巻 第1号	小川 泰生	陶淵明の詠史詩について
		廣瀬 肇	LNG運搬船の安全規制に関する一考察
		柿元 純男	Tariff Structure and Protection in the Presence of Non-Traded Good
		國司 彰男 廣瀬 肇 村上 暦造	アメリカ合衆国コーストガード組織マニュアル（抄訳）（その2）
昭和54年 1979年	第25巻 第2号	片山 信弘	アメリカにおける取締役責任補償
		日下 明男	海事用語等の由来の研究（その2）
		國司 彰男 廣瀬 肇 村上 暦造	アメリカ合衆国コーストガード組織マニュアル（抄訳）（その3）
昭和55年 1980年	第26巻 第1号	村上 暦造	西ドイツにおける行政法令違反処理手続（一） －船舶関係法令違反に対する過料制度の実態と問題点－
		片山 信弘	経営の合理性に関する判断の法則について
		日下 明男	海上交通法規における「船員の常務」と 「グッド シーマンシップ」との差異に関する研究
		柿元 純男	The Stolper-Samuelson Theorem, the Theory of Effective Protection and Imperfect Competition
昭和55年 1980年	第26巻 第2号	村上 暦造	西ドイツにおける行政法令違反処理手続（二・完）－船舶関係法令違反に対する過料制度の実態と問題点－
		出本 文信	The Owl and the Nightingale (O & N) の語形・統語論
昭和56年 1981年	第27巻 第1号	村上 暦造	行政官庁による処罰に関する一考察－西ドイツにおける秩序違反と犯罪の区別をめぐる論議を中心として－
		片山 信弘	アメリカにおける取締役・役員責任保険
		柿元 純男	海外直接投資と生産パターン
		井上 研二	ソ連反体制運動の誕生とその歩み
昭和56年 1981年	第27巻 第2号	村上 暦造	海洋汚染に対するエンフォースメント－国際条約のセーフガードを中心として－
		長田 祐卓	二国間定期国際航空協定における輸送力条項論－その規制の根拠をめぐって－
		小川 泰生	海事中国語資料集（1）－立入検査－
昭和57年 1982年	第28巻 第1号 第2号 合併号	廣瀬 肇	船舶内で犯された犯罪に対する管轄権について
		村上 暦造	漁業水域におけるエンフォースメント－国際条約・協定における変遷について－
		柿元 純男	非貿易財と窮乏化成長
		片山 信弘	取締役の信頼の抗弁について
		小川 泰生	海事中国語資料集（2）－取調べ（1）－
		井上 研二	海上保安業務に関するロシア語会話文例
		長田 祐卓	書評 R・マイケル・マゴーニグル、マーク・W・ザッヒャー著『汚染、政治及び国際法－海のタンカー』

年 度	巻号等	執筆者氏名	論 文 内 容
昭和58年 1983年	第29巻 第 1 号	出本 文信	ニュース放送英語－その条件と特徴－
		廣瀬 肇	麻薬密輸防遏のための英米の協力について
		小川 泰生	海事中国語資料集（3）－救難（1）－
		村上 暦造	外国漁船の漁業違反に対する各国のペナルティ
昭和58年 1983年	第29巻 第 2 号	伊藤 寧	過失犯構成要件の明確性に関する一考察
		井上 研二	海上保安業務に関するロシア語基本語彙
昭和59年 1984年	第30巻 第 1 号	大國 仁	当事者主義について（其の一）－刑事手続における真実の発見と罪を問われる個人の関係に関する一考察－
		片山 信弘	取締役の利益相反取引について
		出本 文信	英国中世期抒情詩の類似表現とレトリックの一面－2つの世俗の抒情詩を中心として－
		柿元 純男	Nontraded Goods and the Rybczynski Theorem : Further Analysis
		日下 明男	中国における海上交通安全法
		小川 泰生	海事中国語資料集（4）－救難（2）－
		井上 研二	ソ連漁船取締りおよび捜査関係書類のロシア語
昭和59年 1984年	第30巻 第 2 号	甲斐 克則	人工延命措置の差控え・中断の問題について（一）－アメリカの判例分析を契機として－
		清水 徳之	夫婦財産制における妻の家事労働をどう評価すべきか
		廣瀬 肇	船舶法の問題点（1）
		清水 徳之	韓国の海洋警察隊の職制（訳）
昭和60年 1985年	第31巻 第 1 号	山本 草二	新海洋法秩序と我が国の対応について
		甲斐 克則	人工延命措置の差控え・中断の問題について（二）－アメリカの判例分析を契機として－
		井上 研二	ソ連の対日戦略と対ソ外交のあり方
		日下 明男	海事用語等の由来の研究（その3）
		廣瀬 肇	船舶法の問題点（2）－船舶の登録、国籍、船旗－
昭和60年 1985年	第31巻 第 2 号	大國 仁	海上保安庁の犯罪捜査の管轄について
		甲斐 克則	人工延命措置の差控え・中断の問題について（三）－アメリカの判例分析を契機として－
		村上 暦造	MARPOL 73/74とポートステートコントロール
		アルビン・エーザー 甲斐克則訳	法と人間遺伝学－人間の遺伝的形質操作についての法学的考察－
		アルビン・エーザー 甲斐克則訳	人間遺伝学：法的・社会政策的側面
昭和61年 1986年	第32巻 第 1 号	片山 信弘	商法265条違反の取引の効果について
		甲斐 克則	人工延命措置の差控え・中断の問題について（四）－アメリカの判例分析を契機として－
		日下 明男	海事用語等の由来の研究（その4）
		出本 文信	初期中英詩 <i>The Owl and the Nightingale</i> の語彙について
		廣瀬 肇	船舶安全法第18条第2項にいう「船長」、同条第3項にいう「船長以外ノ船舶乗組員」の意義、及び船舶職員法第18条第1項本文にいう「海技従事者を乗り組ます」の意義、同法第19条本文にいう「その他やむを得ない事由」の意義
		甲斐 克則	患者の自殺企図と医師の刑事責任－西ドイツのヴィッツィッヒ医師事件BGH判決とA・エーザーの批評をめぐって－
		村上 暦造	西ドイツ連邦国境警備法
		小川 泰生	海事中国語資料集（5）－入港通報・錨地指定－

年 度	巻号等	執筆者氏名	論 文 内 容
昭和61年 1986年	第32巻 第2号	甲斐 克則	人工延命措置の差控え・中断の問題について（五）－アメリカの判例分析を契機として－
		甲斐 克則	海上保安実務・刑事判例研究〔第一回〕 刑法第126条第2項にいう艦船の「破壊」にあたるとされた事例（第八よし丸事件）
		小川 泰生	海事中国語資料集（6）－航行管制・航行警報－
		井上 研二 長島 久之	海上保安業務に関するロシア語会話文例（その2）
昭和62年 1987年	第33巻 第1号 通巻 第48号	甲斐 克則	人工延命措置の差控え・中断の問題について（六）完－アメリカの判例分析を契機として－
		中村 裕昭	動名詞の統語構造と形式的特性
		甲斐 克則	海上保安実務・刑事判例研究〔第二回〕刑法第1条第2項にいう「日本船舶」にあたるとされ、かつ公海上における船舶覆没行為につき刑法第1条第2項により同法第126条第2項の規定の適用があるとされた事例（第三伸栄丸事件）
		佐藤 薫	アセンブリ言語を用いて表現されているソースプログラムは著作権法（昭和60年改正前）上の保護を受ける著作物であるとした事例
		小川 泰生	海事中国語資料集（7）－気象・検疫－
		清水 徳之	韓国の警察大学設置法（訳）
		菅野 瑞夫 廣瀬 肇 村上 暦造	海上保安庁法解釈資料（1）
昭和62年 1987年	第33巻 第2号 通巻 第49号	谷 峰夫	所謂「先le后de」について
		廣瀬 肇	船舶法の問題点（3）－船舶登録要件に関する国際連合条約に関連して－
		谷 峰夫	邵雍・皇極經世書の十声十二音にみる配数と配字について
		松田不二夫	海上労働の特異性に関する一考察
		甲斐 克則	海上保安実務・刑事判例研究〔第三回〕 過失犯処罰の明文のない旧海水油濁防止法第5条第1項・第36条につき、過失犯を処罰する趣旨であるとされた事例（明原丸事件）
		小川 泰生	海事中国語資料集（8）－立入検査（2）・警備－
		谷 峰夫	『日本寄語』音韻研究のために
昭和63年 1988年	第34巻 第1号 通巻 第50号	伊藤 寧	刑法と国際社会
		井上 研二	ソ連の民族問題とゴルバチョフ政権
		松本 宏之	法律エキスパートシステムの法的知識ベースについて－法規範文の論理形式化の観点から－
		松田不二夫	我が国海運政策の史的展開について（その一）
		大國 仁	海上保安実務・刑事判例研究〔第四回〕 海上保安官の操作権限の及ぶ範囲
		甲斐 克則	医師・患者関係における嘱託殺人と自殺幫助の区別－自己決定権の限界に関するハッケタール事件ミュンヘン上級地裁決定－
		小川 泰生	海事中国語資料集（9）－衝突事件－
昭和63年 1988年	第34巻 第2号 通巻 第51号	松本 宏之	A Study on Logical Formalization of HOHFELD's Fundamental Legal Conceptions
		中村 裕昭	補文をとる文と名詞句の形式的特性
		甲斐 克則	海上保安実務・刑事判例研究〔第五回〕 狭水道における船舶衝突死傷事件につき信頼の原則が否定された事例（フェリーふたば・貨物船グレート・ビクトリー号衝突事件）
		赤津 洋一	韓国の沿近海漁業別現況分析（抄訳）

年 度	巻号等	執筆者氏名	論 文 内 容
平成元年 1989年	第35巻 第1号 通巻 第52号	佐藤 薫	憲法第21条と同一性保持権－パロディおよびその保護について－
		松本 宏之	海上衝突予防法の性格に関する一考察
		松田不二夫	巡視船艇の配属・運用モデルに関する一考察
		片山 信弘	取締役が代表取締役を兼任する会社のためになした債務引受が商法265条に違反するものではないとされた事例
		甲斐 克則	海上保安実務・刑事判例研究〔第六回〕 東京湾の中ノ瀬航路出口付近で起きた船舶衝突事故につき大型タンカーの船長の過失が認められた事例(タンカー第拾雄洋丸・貨物船パンフィックアレス号衝突事件)
		甲斐 克則	意思決定無能力患者からの人工栄養補給チューブ撤去の許容性に関する重要判例－アメリカ・ニュージャージー州のコンロイ事件判決－
		佐藤 薫 赤津 洋一	大韓民国著作権法 (訳)
平成元年 1989年	第35巻 第2号 通巻 第53号	井上 研二	続・ソ連の民族問題とゴルバチョフ政権
		松本 宏之	所謂「船員の常務」についての一考察
		中村 裕昭	「副詞類の統語構造とPredication」
		清水 徳之	ハングル綴字法の改正について
		松生 建	イゴール・プリモラツ『パンクォーの亡霊－ヘーゲルの刑罰理論－』
		甲斐 克則	海上保安実務・刑事判例研究〔第七回〕 構造上欠陥を有する貨物船の転覆事故につき船長の過失責任が認められた事例(津久見丸事件)
		佐藤 薫 赤津 洋一	大韓民国コンピュータプログラム保護法 (訳)
		福壽 弘芳 廣瀬 肇(監修)	韓国警察官職務執行法について
平成2年 1990年	第36巻 第1号 通巻 第54号	松本 宏之	所謂「雑種船」についての一考察
		松本 宏之	リゾート開発の現状と問題点－瀬戸内海を例にとって
		出本 文信	修道女案内 (1) (訳)
		谷 峰夫	“除非” 攷
		清水 徳之	ハングル綴字法の改正について (2)
		甲斐 克則	海上保安実務・刑事判例研究〔第八回〕 潜水作業中に機関長がエンジンを始動させたため潜水夫が死亡した場合において、信頼の原則を根拠に船長に対し業務上過失致死の責任が否定された事例 (漁船第一五喜丸事件)
平成2年 1990年	第36巻 第2号 通巻 第55号	松本 宏之	法規範文の論理形式化の手法に関する一考察
		中村 裕昭	副詞類とmodification, orientation, predication
		井上 研二	三年ぶりのモスクワマプリャール国際会議に参加して－
		甲斐 克則	海上保安実務・刑事判例研究〔第九回〕 漁船同士の衝突事故について信頼の原則が否定された事例 (漁船第二源盛丸・漁船えり丸衝突事件)
		福壽 弘芳	大韓民国歴代憲法の変遷について (その1)
		谷 峰夫	老舍的《骆驼祥子》里的直喻手法
平成3年 1991年	第37巻 第1号 通巻 第56号	廣瀬 肇 福壽 弘芳	韓国憲法の概要について (金哲洙韓国ソウル大学校法科大学教授の講演内容から)
		松生 建	ヘーゲル『法哲学』における報復の論理
		松本 宏之	法的推論のシステム論的考察
		松田不二夫	問題解決への道－公共組織の問題解決能力向上のために－

年 度	巻号等	執筆者氏名	論 文 内 容
平成 3 年 1991年	第37巻 第 2 号 通巻 第57号	谷 峰夫	四字格（成語）里的“之”字
		清水 徳之	立入検査について（その 1）
		井上 研二	ソ連共産党の解体とソ連邦の崩壊
		大塚 裕史	監督過失における予見可能性論（五）
		明石 欽司	Dutch Policy on Contraband in the 17th Century ; Treatment of the Naval Stores and the Opinion of Bynkershoek
		松本 宏之	海域利用調整研究ノートー政策立案上の問題点ー
		松田不二夫	行政官のためのマネージメント入門 その 1
		清水 徳之	立入検査について（その 2）
		松本 宏之	海上衝突事件研究（海難審判）〔第一回〕 貨物船千年丸貨物船ソーラー・ウイング貨物船とよふじ丸貨物船トーヨー 8 衝突事件
平成 4 年 1992年	第38巻 第1・2号 合併号 通巻 第58号 （海上保安大学校 40周年記念号）	福壽 弘芳	大韓民国歴代憲法の変遷について（その 2）
		松田不二夫	海域の危険性・安全性の評価についての一考察
		中村 裕昭	英語における名詞句の主語と θ 理論
		出本 文信	いくつかの中英語期作品における七大罪源の扱われ方についてー特にカタログ表現としてー
		佐藤 薫	子どもの教育に関する権利ー教育を受ける権利を中心としてー
		大國 仁	犯罪捜査の職務と海上保安庁ー海上保安庁法第31条の法意ー
		片山 信弘	商法第203条第 2 項の権利行使者の通知と原告適格
		大塚 裕史	監督過失における予見可能性論（六）
		明石 欽司	17世紀オランダの中立通商政策ーバインケルスフーク理論の検証ー
平成 5 年 1993年	第39巻 第 1 号	松本 宏之	海上衝突事件研究（刑事裁判）〔第二回〕 コンティフォーチュン・錦陽 8 衝突事件
		越智 均	海上公害関連中国語資料
		松田不二夫	行政官のためのマネージメント入門（その 2）
		谷 峰夫	关于两个选题的日汉之间异同
		清水 徳之	立入検査について（その 3）
		出本 文信	修道女案内（2）（訳）
		明石 欽司	バインケルスフークの <i>jus gentium</i> 理論
		大塚 裕史	監督過失における予見可能性論（七）
		松本 宏之	経済学的モデルに基づく最適合意形成プロセスと海域利用調整マニュアルについての一考察
平成 5 年 1993年	第39巻 第 2 号 通巻 第60号	小川 哲也	旧ソ連邦における航海の安全と法
		松田不二夫	行政官のためのマネージメント入門（その 3）
		松田不二夫	行政官のためのマネージメント入門（その 4）
		廣瀬 肇	イギリス及びオランダにおける海難救助機関（コーストガードと民間海難救助機関）
		越智 均	密航事犯関連中国語資料
		谷 峰夫	単音節副詞と二音節副詞
		松本 宏之	海上衝突事件研究（外国判例）〔第三回〕 機船アトランティック・ホープ号・汽船アメリカン・アクエリアス号衝突事件 ー「パシフィックキャリア会社の責任免除あるいは軽減の申し立てについて」ー
		松本 宏之	海上衝突事件研究（外国判例）〔第三回〕 機船アトランティック・ホープ号・汽船アメリカン・アクエリアス号衝突事件 ー「パシフィックキャリア会社の責任免除あるいは軽減の申し立てについて」ー
		松本 宏之	海上衝突事件研究（外国判例）〔第三回〕 機船アトランティック・ホープ号・汽船アメリカン・アクエリアス号衝突事件 ー「パシフィックキャリア会社の責任免除あるいは軽減の申し立てについて」ー

年 度	巻号等	執筆者氏名	論 文 内 容
		廣瀬 肇	イギリス及びオランダにおける海難救助機関（コーストガードと民間海難救助機関）・続
		秦野 一宏	“生理学もの”とゴーゴリ
		中村 裕昭 橋本喜代太	使役および間接受動構文における補文要素の格の照合について
		出本 文信	修道女案内（３）（訳）
		谷 峰夫	「戯后語」の「諧音双美」
平成 6 年 1994年	第40巻 第 2 号 通巻 第62号	松本 宏之	海上衝突事件研究（海難審判）〔第四回〕 機船第一〇二天王丸機船かいりゅう丸衝突事件
		藤岡 賢治	海上事故と製造物責任問題－アメリカ海事法における製造物責任問題を参考として－
		秦野 一宏	ゴーゴリにおける「教育」－『死せる魂』第 2 部について－
		谷 峰夫	有关汉语语法的几个问题
		越智 均	通信用中国語基本例文集
		福本 拓也	「第一語基+고」、「第三語基+서」の解釈について（１）
平成 7 年 1995年	第41巻 第 1 号 通巻 第63号	大塚 裕史	監督過失における予見可能性論（八）
		松本 宏之	海上衝突事件研究（海難審判・刑事裁判）〔第五回〕 引船第七十七善栄丸被引台船二五〇〇水中翼船こんどる 3 号衝突事件
		前田 雅英	特別講演 ポストモダンの刑法理論－新しい刑法理論の方向性－
		藤岡 賢治	海上事故と製造物責任問題（二）－アメリカ海事法における製造物責任問題を参考として－
		秦野 一宏	ドストエフスキの『分身』について
		出本 文信	修道女案内（４）（訳）
		福本 拓也	「第一語基+고」、「第三語基+서」の解釈について（１）
		谷 峰夫	关 于 字 谜
平成 7 年 1995年	第41巻 第 2 号 通巻 第64号	片山 信弘	自己株式取得規制違反における無効について
		藤岡 賢治	海上事故と製造物責任問題（三・完）－アメリカ海事法における製造物責任問題を参考として－
		松本 宏之	海上衝突予防法の論理形式化に関する基礎研究
		中村 裕昭	V P シェル構造と複文における格の認可について
		宇和川 淳	中国の海事判例
		清水 徳之	立入検査について（その 4）
		福本 拓也	韓国海洋大学校学則（訳）
平成 8 年 1996年	第42巻 第 1 号 通巻 第65号	大塚 裕史	監督過失における予見可能性論（九）
		松本 宏之 荒川 治久	海上衝突予防法の法的概念の構造に関する法論理学的研究
		藤岡 賢治	アメリカ海事法における海難原因・海難救助活動の過誤と国（行政）の法的責任（一）
		山地 哲也	自動操舵装置使用時海難の意識フェーズからの分析
		宇和川 淳	中国の海事判例（その 2）
		清水 徳之	ハングル（韓国語）の標準語の査定原則について（その 1）
		秦野 一宏	チェーホフと狂気－『黒衣の僧』をめぐって－
		出本 文信	Spellings of <i>The Owl and the Nightingale</i>
		中村 裕昭	事象構造と「ている」の解釈
平成 8 年 1996年	第42巻 第 2 号 通巻	松本 宏之	論理的手法に基づく計量法律学的研究
		廣瀬 肇	海上保安庁法第17条（平成 8 年 7 月 20 日の改正前のもの）に基づく立入り検査が適法とされた事例

年 度	巻号等	執筆者氏名	論 文 内 容
	第66号	成田 頼明	特別講義 海域区分と利用の調整
		藤岡 賢治	アメリカ海事法における海難原因・海難救助活動の過誤と国(行政)の法的責任(二)
		藤田 健 中村 裕昭 橋本喜代太	2種類の可能複合動詞 ～stage-level の述語と individual-level の述語～
		宇和川 淳	中国の海事判例 (その3)
		越智 均	中華人民共和国海事関係法規 (1) - 海上交通事故調査処理条例 -
平成9年 1997年	第43巻 第1号 通巻 第67号	大塚 裕史	監督過失における予見可能性論 (10)
		北川佳世子	過失犯の共同正犯をめぐる問題 (一)
		松本 宏之	責任追及課程における海上衝突予防法論
		秦野 一宏	『6号室』(チェーホフ) 論-閉じ込める者・閉じ込められる者
		中村 裕昭	Split Intransitivity and Case Checking in Complex Sentences in Japanese
		永田 潤子	DEAのベンチマーキングへの応用
		清水 徳之	ハングル(韓国語)の標準語の査定原則について(その2)
		越智 均	中華人民共和国海事関係法規 (2) - 中華人民共和国涉外海洋科学研究管理規定-他
		藤岡 賢治	アメリカ海事法における海難原因・海難救助活動の過誤と国(行政)の法的責任(三)
平成9年 1997年	第43巻 第2号 通巻 第68号	松生 建	ヘーゲルの市民社会論における犯罪と刑罰 (一)
		松本 宏之	海上衝突予防法第15-15条の論理構造分析
		中村 裕昭	可能構文における格交替現象に関する覚え書き-形態統語現象の意味論的帰結-
		越智 均	中華人民共和国海事関係法規 (3) - 内河交通安全管理条例 (訳) -
		廣瀬 肇	イタリアの海上保安制度
		藤岡 賢治	アメリカ海事法における海難原因・海難救助活動の過誤と国(行政)の法的責任(四)
平成10年 1998年	第44巻 第1号 通巻 第69号	西原 春夫	特別講演 世界の潮流とアジア・日本の将来
		片山 信弘	利益相反取引における取締役会の承認の意義-A L I の原理を中心に-
		松本 宏之	海上衝突事件研究(刑事裁判)[第六回] 汽船宝盛丸漁船万里丸衝突事件-業務上過失致死・業務上過失往来妨害被告事件-
		秦野 一宏	チェーホフと「共通の思想」-『職務にて』をめぐって-
		出本 文信	修道女案内 (5) (訳)
		越智 均	中華人民共和国海事関係法規 (4) - 内河衝突予防規則 (訳) -
		梅津 隆弘	1996 NORTH AMERICAN EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK の部分訳 (訳注付き)
		藤岡 賢治	アメリカ海事法における海難原因・海難救助活動の過誤と国(行政)の法的責任 (五・完)
平成10年 1998年	第44巻 第2号 通巻 第70号	佐々木史朗	特別講演 戦後刑事裁判史の諸問題
		松生 建	ヘーゲルの市民社会論における犯罪と刑罰 (二・完)
		成田 秀樹	行政調査の規律とプライバシーの客観的期待-合衆国に於ける判例法理の展開と分析-
		松本 宏之	海上衝突予防法第9条第3項と海上における衝突の予防のための国際規則第9条(c)の論理法学的分析

年 度	巻号等	執筆者氏名	論 文 内 容
		藤岡 賢治	大規模油濁事故における公的機関の防除措置とその費用負担に関する考察（一） －日米法制の比較を中心として－
		中村 裕昭	関数合成と無境界依存 predication
		越智 均 黒木 義雄	中華人民共和国海事関係法規（５） －排他的経済水域及び大陸棚法（訳）－ －航路管理条例（訳）－
平成11年 1999年	第45巻 第1号 通巻 第71号	片山 信弘	敵対的企業買収における取締役の行為基準（一）
		村上 暦造	領海警備の法構造
		松本 宏之	港則法の航法に関する論理法学的分析
		北川佳世子	海上保安実務・刑事判例研究〔第10回〕 プレジャーボートの転覆死傷事件において操船者だけでなく同人に操船を引き継いだ者及び操船指導を引き受けていた者についても過失致死傷罪が肯定された事例（プレジャーボート東転覆事件）
		高橋 勝	海上公害の取締りに関するゲーム理論的考察
		秦野 一宏	生の虚構化 －チェーホフの『かもめ』について
		越智 均 黒木 義雄	中華人民共和国海事関係法規（６）－航路管理条例実施細則（訳）－
		中村 裕昭	A Function Composition Analysis of the Tough Constructions in Japanese
平成11年 1999年	第45巻 第1号 通巻 第72号	片山 信弘	敵対的企業買収における取締役の行為基準（二）
		松本 宏之	港の法定航路に関する基礎研究
		永田 潤子	行政活動の評価に関する研究（一）
平成12年 2000年	第46巻 第1号 通巻 第73号	曾根 威彦	特別講演 刑法と倫理
		片山 信弘	敵対的企業買収における取締役の行為基準（三・完）
		秦野 一宏	『三人姉妹』における「教養」の問題
		廣瀬 肇	海上警察機関による武器の使用に関する一考察
		永田 潤子	行政活動の評価に関する研究（二）
		松本 宏之	海上衝突事件研究（海難審判・裁決取消請求事件判決）〔第七回〕 機船第8金生丸機船第3清運丸衝突事件
		越智 均 黒木 義雄 加藤 清志	中華人民共和国海事関係法規（７）－海洋環境保護法（訳）－
平成12年 2000年	第46巻 第2号 通巻 第74号	藤岡 賢治	大規模油濁事故における公的機関の防除措置とその費用負担に関する考察（二） －日米法制の比較を中心として－
		村田 直幸 中村 裕昭	日本語と韓国語における多重主語構文及び関連構文の考察
		クルト・ゼールマン 宮澤浩一 勝亦藤彦	犯罪としての不作為
		松本 宏之	海上衝突事件研究（海難審判）〔第八回〕 貨物船明福丸引船第5末広丸引船列衝突事件（海難審判）
		出本 文信	修道女案内（６）（訳）

第2部（理工学系）一覧表

ISSN 0287-2951

自昭和30年度～至平成12年度

年 度	巻号等	執筆者氏名	論 文 内 容
昭和30年 1955年		藤崎 正治	船測無線方位の計算図表（共線図表）について
		木佐木健之助	Heavy Hydrocarbons 吸収剤としての硫酸第二水銀溶液について
		野村 安正	二次元非圧縮性層流境界層方程式の一非定常特別解に就いて
		三好 豊 南 亘	小型蒸気機関のピストン弁よりの蒸気漏洩について
		小川 勝	重油添加剤の効果について
		井上久四郎	地形および船舶等による方探誤差について
昭和31年 1956年		野村 安正 向原 誠也	主流の fluctuation に対する層流境界層内の流れの response に就いて
		小川 勝	ディーゼル燃料油の混合安定性について
		齊木 功 三好 豊	曳航索破断防止策
昭和32年 1957年		神 正三	計算のみによる位置の線航法
		宮崎 正名 谷村聖二郎	レーダー探知距離の実際的推定方式について（其の一）
		小川 勝	ディーゼル燃料油の混合安定性が絶縁耐力におよぼす影響について
		重川 亘 家護谷勝司	アングル弁の抵抗係数と管の摩擦係数について
		三好 豊 小高 重郎	ディーゼルエンジンの潤滑油流について
		向原 誠也	船用高速ディーゼル機関における低質油使用法の研究（Ⅰ）
昭和33年 1958年		藤崎 正治	三桿分度器と同一作用をする新しい器具
		藤崎 正治	Loran Chart 及び Decca Chart の幾何学的作図法
		宮崎 正名	暴風海面において遭難せる遠洋漁船等の搜索方式について
		高山 宗郎	平面航法の適用範囲について
		高田 四郎	プロペラ軸並びにプロペラ軸スリーブの亀裂について
		桑原儀三郎	鋼の繰返し衝撃疲労寿命に及ぼす滲炭の影響について（第1報）
		小川 勝	粗悪重油の灰分溶脱に関する研究（中間報告）
		重川 亘 家護谷勝司	消防用麻ホースの曲り損失について
		小高 重郎	ディーゼル機関の冷却水損失について
昭和34年 1959年		阿部 秀明	蒸気噴射式オイルバーナー（内部混合式）に対する使用蒸気の性状の影響について（第一報）
		高田 四郎 桑原儀三郎	メタリコン法による亜鉛被覆の一海水浸漬試験
		小高 重郎	多気筒ディーゼル機関の不均衡運転について
		神 正三 嶋田 和治	一定の大圏距離の地点に到る大圏距離と航程線距離との差が極値を取る為の条件（一）
		吉中百合雄	水冷式ジャイロ、コンパスの冬季運転にみられる静定不良の防止について
		藤崎 正治	水路測量に於て円座標法に反転法を利用すること
		重川 亘 邊見 正和	自吸ポンプについて（第一報）
昭和35年 1960年		山本 平彌	電動油圧操舵機の先進角と船の操縦性について
		小川 勝	ディーゼル燃料として溶剤抽出油の適応性について
		桑原儀三郎 金子 昇	一平面内に曲げられるボルトの応力計測法
		木佐木健之助	銅に対する腐蝕抑制剤の研究（其の一）
		内海 靖之	ベクトル図によるQの補正について
		藤崎 正治	沿岸航行の際の航跡記録装置
昭和36年 1961年		菅原 大	南極地域観測航空輸送計画樹立に至る経緯

年 度	巻号等	執筆者氏名	論 文 内 容
		小川 勝	舶用中速ディーゼル機関用潤滑油に対する油性向上剤の利用について
		重川 亘 本野 司郎	自吸ポンプについて（第二報）
		桑原儀三郎	締付時におけるボルトの曲げについて
		安部 秀明	蒸気噴射式オイルバーナーの性能について（第二報）
		三好 豊	曳航緩衝器の作動について
		高橋 康正	電鍵方式の比較とエレクトロニック・キーの試作について
		谷村聖二郎 内海 靖之	無線電信受信機の感度試験について
		木佐木健之助	銅に対する腐蝕抑制剤の研究（其の二）
		相良 五朗	^{45}Ca の自己吸収について
昭和37年 1962年		相良 五朗	同位元素希釈法による水中のカルシウムの定量
		木佐木健之助	銅に対する腐蝕抑制剤の研究（其の三）
		木佐木健之助	銅に対する腐蝕抑制剤の研究（其の四）
		神 正三	レーダーPPI上の相対プロットにおける他船の進路および速力の推定誤差(その一)
		吉中百合雄	水冷式ジャイロ・コンパスの短時間静定器の試作について
		山本 平彌	Z操船試験による船の操縦性指数の算定法について
		重川 亘	自吸ポンプについて（第三報）
		小川 勝	五号内燃機油の現場再生について
		桑原儀三郎	エポキシ系接着剤による金属の接着強度について
		永吉 甫	電気機器ベクトル図の統一的表現に関する一提案
		谷村聖二郎	添加搬送波 S S B 方式の問題点について
		高橋 康正	レツヘル線水位（潮汐）測定方式について
		高橋 康正	MS-053型50W送信機の性能について
		村瀬 宏	安全通信の通報の送信方法に関する一考察
昭和38年 1963年		木佐木健之助	焼石膏の凝結について（鑑識への応用）
		佐々木茂人	機帆船の運航に関する諸性能（1）（Hydrostatic curve の解析）
		菅原 大	機帆船の海難（主として乗揚）について
		安部 秀明	蒸気噴射式オイルバーナー（内部混合式）の真空性能について（第三報）
		桑原儀三郎	接合面の接触状態が Crank pin bolt の締付力及び強度に及ぼす影響
		重川 亘	試作直線型風洞の吹出流について（第一報）
		小野 確良	平衡変調器の製作と動作解析について
		小野 確良	超短波用定在波測定装置の製作について
		内海 靖之	分布定数線路の Quality Factor Q について
昭和38年 後期		重川 亘 本野 司郎	試作直線型風洞の吹出流について（第二報）
		村瀬 宏 谷村聖二郎	通信速度係数装置
昭和39年 1964年		桑原儀三郎	板材引張試験片の寸法効果
		重川 亘	風洞の吹出流中におけるピトー管の実験について
		平野新太郎 永吉 甫	自励式交流発電機の負荷時電圧変動特性（定常値）のブロックダイアグラムによる解析
		山本 平彌	ブルドン管の作動力について
		横山 雄三	円弧に接するレバーによる特殊なばね剛性特性を得る方法
		石川 清美	「電気影像の理」の拡張法（等角写像法による高周波伝送線路に関する研究）
		磯部 英雄	無線電信における遭難手続に関する一考察

年 度	巻号等	執筆者氏名	論 文 内 容
昭和40年 1965年		佐々木茂人	海難発生の確率分布と救難態勢（1）
		高橋 康正 谷村聖二郎	無線方位測定機における夜間誤差について
		内海 靖之	霧中における特定方位識別信号方式
		木佐木健之助	塗膜片による船の識別
		小川 勝	ディーゼル燃料のアニリン点及び比重からのセタン価推定法
		平野新太郎	アナログコンピュータによるSCR方形波インバータの波形解析について
昭和41年 1966年		佐々木茂人	海難発生の確率分布と救難態勢（2）
		石川 清美	不平衡円筒状二線式の特性解析
		永吉 甫	低インピーダンス並列形可飽和リアクトルの動作に関する一考察
		内海 靖之	トンネルダイオードとトランスフラクサーを用いた記憶素子に関する若干の実験について
		横山 雄三	或るディーゼル機関の調速実験
		小川 勝	潤滑油の酸化に関する二・三の実験
		木佐木健之助	塗膜片の同定について（第1報） 塗膜片同定に関する予備試験法
昭和42年 1967年		桑原儀三郎	ビッカース硬さと応力との関係について
		小川 勝	ディーゼル機関システム油に対する流線濾過器の実用試験成績
		木佐木健之助	塗膜片の同定について（第2報） 塗膜片・樟脳共融体に対する試験法
		内海 靖之	歪信号発生器について
		平野新太郎	簡易SCR方形波インバータによる単相誘導電動機速度制御について
		吉中百合雄	アンシューツジャイロコンパス支持液の保温装置の試作実験結果について
		宮崎 正名	練習用巡視船に装備された極超音波測深機の測深性能について
		藤崎 正治 嶋田 和治	天測計算表に1分毎の三角関数の対数表を付加することの提案
		嶋田 和治	漸長図上における位置の線の曲率誤差 ー公式近似の限界についてー
		矢野 健爾	旋回性に及ぼすトリム影響に関する実船試験
		片岡 勝之 千葉 新治	海上における流出原油の防災対策について（1）
		山本 平彌	船の操舵機の最適舵角速度
昭和43年 1968年		福田悌次郎	ある種の対象B I B Dの Isomorphism について
		木佐木健之助	塗膜片の同定について（第3報） 光電濃度計の応用
		宮崎 正名	二周波式音響測深機の極超音波系に対する実用レベル計算例について
		嶋田 和治	漸長緯度航法誤差の一考察
		桑田 昇	小型船海難の一因としての安定性について
		重川 亘	運動量方程式による圧縮性平板層流境界層の近似解（断熱壁）
		横山 雄三	ディーゼル機関の燃焼モデルについての一試案
		内海 靖之	CR型歪率計の誤差について
		吉中百合雄	水冷式ジャイロ・コンパス短時間静定器を装備した巡視船の実態調査報告について
昭和44年 1969年		小川 勝	潤滑油の Foaming に関する二・三の実験
		内海 靖之	通信運用シミュレータについて
		林田 秀人	中性子照射した LiF のX線測定
		堂本 幹夫	無線方位測定の誤差について
		谷口 修弘	自動設定方式による非接触振動計（位相変調形）の研究 ー工作機械の振動測定への応用ー
		萩野 芳造	レーダーと他の装置による船舶の識別
昭和45年 1970年	第16巻 第1号	横山 雄三	軸出力の測定と船体抵抗の変化について
		内海 靖之	整流形計器の特性について
		萩野 芳造 黒木 慶平	最適化された自動受信機と人為復号化操作

年 度	巻号等	執筆者氏名	論 文 内 容
		萩野 芳造 遠藤 寛	陸上方位測定局における方位測定可能最小電界の測定について
昭和45年 1970年	第16巻 第2号	重川 亘	超音速気流に関する二,三の考察
		小川 勝	潤滑油の簡易分析試験法
		萩野 芳造	Un-ambiguous 双曲線および放射線電子航法方式 (可変周波数電波航法) と直交曲線座標の利用
		折出 巖 堂本 幹夫	高感度無線方位測定の一方法について
		内海 靖之	C R形態域通過濾波器とその応用について
		黒木 慶平	自然現象と情報, 論理の物理的意味
		寺尾 進	固定したプロペラの抵抗について (第1報)
		福田悌次郎	誤り訂正線形符号の符号長について
昭和46年 1971年	第17巻 第1号	神 正三	瀬戸内海における海難と海上交通の推移 (その1)
		寺尾 進	小型鋼船の海難について (衝突)
		平野新太郎 永吉 甫	自励式交流発電機の無負荷時諸特性の作図による決定法について
		内海 靖之	C R形歪率計の誤差低減策について
		黒木 慶平	自然現象における能動システムと情報について
		萩野 芳造	Image Method と可変周波 Unambiguous CW Mono-, Bi-, Multi-Static Radar について
昭和46年 1971年	第17巻 第2号	歌代 慎吉 近藤 忠	伊豆・小笠原諸島海域における航空, 海上磁気測量
		谷口 修弘	うず電流によるダクタイル鑄鉄の黒鉛球状化率の測定 (第1報)
		今野 宗郎	救難面から見た小型船の火災について
		寺尾 進	小型鋼船の海難について (乗揚)
		神 正三 平野新太郎 萩野 芳造 福田悌次郎 石川 清美 嶋田 和治	鳴門海峡および備讃瀬戸 (西部) におけるミリ波レーダによる船舶交通量の基礎的研究 (その一)
昭和47年 1972年	第18巻 第1号	歌代 慎吉 近藤 忠	関東南部の航空磁気測量
		林田 秀人 相良 五朗	X線反射強度曲線の器械的補正の電算機による方法について
		平野新太郎 石川 清美	OD調査資料解析に関するソフトウェアについて
		寺尾 進	被曳船の進路安定 (その1)
		黒木 慶平	人為モールス無線通信における耳の特性について
		内海 靖之	欧州定期航路貨物船における通信態勢ならびに同航路周辺海域における遭難, 緊急, 安全通信の実状について
昭和47年 1972年	第18巻 第2号	歌代 慎吉 近藤 忠	能登半島周辺の海上磁気測量
		辰野 忠夫	大阪湾の海底地盤沈下
		木佐木健之助	排水中のシアン検知法について
		佐々木茂人 矢野 健爾 神 正三	音戸瀬戸の交通特性について (I)
昭和48年 1973年	第19巻 第1号	福田悌次郎	対称要因計画における因子数について
		歌代 慎吉	北海道西部海域の海上磁気測量
		木佐木健之助	イオン電極の動作特性について

年 度	巻号等	執筆者氏名	論 文 内 容
		辰野 忠夫	隠岐諸島西方におけるロラン位置測定
		矢野 健爾	規則波中で漂流している場合に接舷した場合に誘起する救助船の運動について
		加島 政憲	球状黒鉛成長におよぼす炭素含有量の影響
		北岡 洋志 山口 美嗣 寺尾 進 加島 政憲	転覆海難救助用の浮体の開発
昭和48年 1973年	第19巻 第2号	木佐木健之助	Diphenylthiocarbazone による金属イオンの簡易定量法(ヨシテストによる方法)
		寺尾 進	固定したプロペラの抵抗について (第2報)
		嶋田 和治 神 正三 平野新太郎 佐々木茂人 萩野 芳造	瀬戸内海における船舶交通量と潮流の関係
昭和49年 1974年	第20巻 第1号	加島 政憲	黒鉛球状化におよぼす冷却温度と酸素の影響
		老松 建成	超音波 PPM水中音声通信方式の検討
		相良 五朗	混晶における F 吸収帯について
		辰野 忠夫	ロランより経緯度を求めるプログラム
		桑原儀三郎	ダブルナットのゆるみ止め効果について
		歌代 慎吉 近藤 忠	日本近海の航空磁気測量について
		広田 直照	デッカシステムによる位置決定計算法について
		萩野 芳造 谷村聖二郎	可変搬送波広帯域通信方式の考察
昭和49年 1974年	第20巻 第2号	相良 五朗 林田 秀人	X線の反射強度からの歪と結晶粒子の実験的解析について
		寺本 定美 小瀬 邦治 芳村 康男	練習船“こじま”の操縦性能について
		内海 靖之	Qメータによる高インピーダンスの測定について
		萩野 芳造 谷村聖二郎	可変搬送波広帯域通信方式の検討
		竹中 康雄	位置可変不連続素子整合器
		黒木 慶平	情報理論の発展へのアプローチ
昭和50年 1975年	第21巻 第1号	相良 五朗 林田 秀人 橋爪 邦夫	KCl-KBr 混晶における F 中心発光について
		歌代 慎吉	海上に浮流する原油、重油の経時変性について
		萩野 芳造 谷村聖二郎	F M再生復調方式
昭和51年 1976年	第22巻 第1号	歌代 慎吉	海上に浮流する原油、重油の経時変性について (第二報)
		西野 朝生	NNSS測位計算におけるプログラム式卓上計算機の利用
		平野新太郎	瀬戸内海交通流の吸収マルコフ連鎖による解析について
昭和52年 1977年	第23巻 第1・2号	林田 秀人 橋爪 邦夫 相良 五朗	斜方結晶場中のEu ²⁺ のESR
		小俣 一郎	測地衛星の最適軌道調査のための一つの基本プログラム (1)
		力安 貞直	蒸気タービン・ノズルの実験的研究
		歌代 慎吉 松尾 英紀	F P Dによる海上流出原油、重油中の硫黄化合物の研究 (第一報)
		小川 勝	海上排出油の識別手法に関する研究 第1報 排出油分の前処理と一般性状の変化

年 度	巻号等	執筆者氏名	論 文 内 容
昭和53年 1978年	第24巻 第 1 号	西野 朝生	オメガ航法における位置の線精度の評価方法とその一例について
		谷口 修弘	うず電流を利用した測定法の研究（鑄鉄の黒鉛球状化率の測定 第3報）
		重川 亘	三次元オリフィスの流量係数について
		歌代 慎吉 松尾 英紀	キャピラリーカラムによる海上流出原油、重油の研究（第一報）
		小川 勝	海上排出油の識別手法に関する研究 第2報 吸着液体クロマト分析による識別手法
昭和53年 1978年	第24巻 第 2 号	歌代 慎吉	1975年に於ける日本近海の地磁気積年変化について
		小川 勝	海上排出油の識別手法に関する研究 第3報 石油中のバナジウム分、ニッケル分分析による識別手法
昭和54年 1979年	第25巻 第 1 号	古室 雅義 大久保安宏 山本 隆文 木佐木健之助	沿岸海域における底泥からの溶出物質の研究 I. 底泥からの栄養塩の溶出
		歌代 慎吉 松尾 英紀	F P Dによる海上流出原油、重油中の硫黄化合物の研究（第2報）
		小川 勝	海上排出油の識別手法に関する研究 第4報 石油中の全窒素分分析による識別手法
		力安 貞直	多孔質物質からの核沸騰
		竹中 康雄 佐藤 尚登	レーダー操作による偽像の形態並びにレベルの実際の測定法について
昭和54年 1979年	第25巻 第 2 号	歌代 慎吉 高田 正	海上浮流原油、重油中の多環芳香族炭化水素成分の研究
		寺本 定美	練習船“こじま”模型の抵抗・推進性能試験について
		小川 勝	海上排出油の識別手法に関する研究 第5報 原油、重油、潤滑油、脂肪油等の薄層クロマトーけい光スキャン分析による識別手法
		黒木 慶平 久野 敦司	デジタル論理セルの一般化とその自己組織セルへの適用について
昭和55年 1980年	第26巻 第 1 号	桑田 正秀	分解能Vの最適な3 ³ 釣合い型一部実施要因計画（19≤N≤27）
		力安 貞直	循環型水管内における自然対流の観察
		老松 建成	P A M－P P M方式による情報伝送について
		小川 勝	海上排出油の識別手法に関する研究 第6報 薄層クロマト分析による原油と重油との識別手法
昭和55年 1980年	第26巻 第 2 号	古室 雅義 池田 晃康 渡辺 泰夫 鏡 信春 木佐木健之助	沿岸海域における底泥からの溶出物質の研究 II. リン酸塩の溶出における硫化水素の効果
		小川 勝	海上排出油の識別手法に関する研究 第7報 赤外吸収スペクトルによるビルジ中の潤滑油添加剤成分の識別手法
昭和56年 1981年	第27巻 第 1 号	老松 建成	パルス両端位置変調による情報伝送について
		小川 勝	海上排出油の識別手法に関する研究 第8報 けい光分光スペクトルによる石油類の分類
昭和56年 1981年	第27巻 第 2 号	竹中 康雄 林田 秀人 広田 直照	救難用方位測定機の情報処理（1）
		小川 勝	海上排出油の識別手法に関する研究 第9報 吸着液体クロマト抽出による油中のろう分測定法
昭和57年 1982年	第28巻 第 1 号	長澤 明 今井純一郎 成瀬 永年 山本 淳	グラフィック・ディスプレイのサブルーチン・ライブラリー
		力安 貞直	蒸気爆発の基礎実験
		小川 勝	海上排出油の識別手法に関する研究 第10報 高速液体クロマトグラフィーによる石油類の識別方法

年 度	巻号等	執筆者氏名	論 文 内 容
昭和57年 1982年	第28巻 第2号	古堅 慶太 林田 秀人	E S R スペクトロメータ
		小川 勝	海上排出油の識別手法に関する研究 第11報 高速液体クロマト分析（赤外分光検出，示差屈折率検出）による石油類の識別手法
昭和58年 1983年	第29巻 第1号	小川 勝	海上排出油の識別手法に関する研究 第12報 石油中のアスファルテン定量分析法及び同成分の高速液体クロマト分析結果
		桑原 信也 竹中 康雄 松永 敬典	教育用モールスコンバータ
		竹中 康雄 林田 秀人	救難用方位測定機の情報処理（2）
昭和58年 1983年	第29巻 第2号	藤田 正実	斜方晶インジウムハライドのX線回折スペクトル
		小川 勝	海上排出油の識別手法に関する研究 第13報 軽質石油分の識別方法
昭和59年 1984年	第30巻 第1号	小川 勝	誘電率測定器による船用内燃機関システム油の劣化度測定結果について
		小川 勝 加島 政憲	海上排出油の識別手法に関する研究 第14報 けい光分光スペクトルによる石油の類似性の迅速識別法の研究
昭和59年 1984年	第30巻 第2号	小川 勝 梶並 強平 福嶋 良助 広田 裕実	海上排出油の識別手法に関する研究 第15報 簡易小型けい光分光計試作品による鉱油類似性識別の研究
		小川 勝	海上排出油の識別手法に関する研究 第16報 試料中の芳香族炭化水素分による類似性識別の研究
昭和60年 1985年	第31巻 第1号	藤田 正実	非共型な空間群をもつT1I型結晶の格子振動
		小川 勝	燃料重油の発火性指数C C A Iについて
		黒木 慶平	負帰還増幅回路の非直線歪に関する詳しい考察
昭和61年 1986年	第32巻 第1・2号	日 當 博喜	出入港時の操縦運動モデルについて ー並進運動並びにプロペラ・舵による流体力ー
		小川 勝	油圧作動油の酸化安定度試験に関する実験
		藤田 正実	D _{3d} 結晶場中の $d^{10} \rightarrow d^9 p$ 電子遷移
		小川 勝	重質油のスラッジ分析方法について
		川本 宏	物理学の基本に関する諸問題（その1）
昭和62年 1987年	第33巻 第1号 通巻 第46号	日 當 博喜	出入港時の操縦運動モデル ー旋回運動が付加する流体力並びに付加質量及び付加慣性モーメントー
		水口 文洋	キーみぞ付き軸（JIS B1301）のねじり
		竹中 康雄 佐藤 尚登	橋梁等におけるレーダー波の反射について
昭和62年 1987年	第33巻 第2号 通巻 第47号	力安 貞直	物体後流渦の挙動について
		加島 政憲	排出油同定のためのゲル浸透クロマトグラフィーの適用
昭和63年 1988年	第34巻 第1号 通巻 第48号	老松 建成	ハイブリット形アナログパルス変調について
		竹中 康雄 佐藤 尚登	大型反射板におけるレーダ波の反射特性について
昭和63年 1988年	第34巻 第2号 通巻 第49号	山口 静馬 倉本 和興 老松 建成 桑原 信也	浅海レジャー海域の水中音場に関する実験的考察
		老松 建成 桑原 信也 山口 静馬 倉本 和興	呉湾における水中通信路としての雑音環境について

年 度	巻号等	執筆者氏名	論 文 内 容
平成元年 1989年		日 當 博喜 島田 伸和 我如古康弘	電話回線を利用した多目的サービスシステムの開発
		菊池 宗幸	無線通信規則の改正と今後の課題 ―当庁の通信周波数政策を主眼として―
	第35巻 第1号 通巻 第50号	山口 静馬 倉本 和興	任意分布形不規則過程の極値統計に関する基礎的一考察
		吉岡 隆充 古室 雅義	バックテストを用いた簡易水質検査の諸検討 ―Ⅰ. 亜鉛, 鉄, 六価クロムの分析―
平成元年 1989年	第35巻 第2号 通巻 第51号	三宅 教雄 池田 英治	巡視船艇の設計思想
		桑原 信也 老松 建成 山口 静馬 倉本 和興	呉湾周辺海域における水中音場の解析 ―超音波領域の特性に関する実験的考察―
		小川 勝	ディーゼル燃料油のセタン指数について
		吉岡 隆充 古室 雅義	バックテストを用いた簡易水質検査の諸検討 ―Ⅱ. マンガン, 銅の分析―
		池田 英治 高橋 勝	巡視船の船体固有振動数の推定について
		三宅 教雄 池田 英治	巡視船艇の設計思想 (その2)
		菊池 宗幸	GMDSS後の通信運用
平成2年 1990年	第36巻 第1号 通巻 第52号	三宅 教雄 池田 英治	巡視船艇の設計思想 (その3)
		高橋 勝	漁業水域における外国漁船監視取締り業務処理時間に関する考察
		高橋 勝 日 當 博喜	海難統計からみた衝突海難発生機構の考察
		水口 文洋	中空キーみぞ付き軸のねじり
平成2年 1990年	第36巻 第2号 通巻 第53号	高橋 勝	救難捜索における最適な捜索勢力についての考察
		水口 文洋	偏心中空キーみぞ軸のねじり
		高橋 勝	海難救助作業における判断基準について
		力安 貞直	熱伝導のシミュレーションについて
		菊池 宗幸	電波法改正とGMDSS
平成3年 1991年	第37巻 第1号 通巻 第54号	吉岡 隆充 山下雄一郎 内田 昌宏 川崎 健 古室 雅義	海洋微生物による有機化合物質の生物分解 ―フェノールおよび安息香酸の分解―
		日 當 博喜 相馬 淳 西山 博 池田 英治	巡視船の追波中の復原力減少に関する研究 ―常備状態における復原力特性―
		水口 文洋	キーみぞ軸の応力分布
		高橋 勝 松本 孝典	特殊救難隊の適切配置について
		桑原 信也 老松 建成	水中超音波通信における多値PSK方式のシミュレーションと浅海域での伝搬実験
平成3年 1991年	第37巻 第2号 通巻 第55号	水口 文洋	偏心中空キーみぞ軸の最適偏心量について
		力安 貞直	気泡核生成機構に関する研究 ―水中に微細な粒子を含む場合の核生成について―
		田坂 茂	船舶における進路信号等について

年 度	巻号等	執筆者氏名	論 文 内 容
平成 4 年 1992年	第38巻 第1・2号 合併号 通巻 第56号 (海上保安大学校 40周年記念号)	吉岡 隆充 久保田昌行 佐藤 義高 古川 大輔 古室 雅義	海洋バクテリアによるフェノールおよび安息香酸の微生物分解
		池田 英治	巡視船艇運航マニュアル ―設計者よりの提言―
		高橋 勝 日當 博喜 山崎 祐介 村山 義夫 遠藤 真	居眠り海難の発生パターン分析について
		長澤 明	避航空間上での海上交通環境評価
		加島 政憲	重油の初期風化について
		谷口 修弘 水口 文洋	水中における梁の振動
		横山 雄三 力安 貞直 島田 伸和 吉田 肇	管路系における各種弁の流体損失
		住本 哲宏 倉本 和興 岡田 三朗 今出 政明 宮内 秀和 宝田 盛康 山本 秀樹	染料の拡がり と 吹き流しの画像処理による潮流シミュレータの流れパターン解析
		林田 秀人	Reflected and Transmitted Wave Operators on the Scattering from a Dielectric Cylinder
		老松 建成 桑原 信也 倉本 和興	水中超音波QAM通信方式についての実験的考察
平成 5 年 1993年	第39巻 第1・2号 合併号 通巻 第57号	老松 建成 山口 静馬 桑原 信也 倉本 和興	海中周囲雑音のパワースペクトルモデルに基づく確率分布表現
		竹中 康雄 佐藤 尚登	レーダ偽像発生予測シミュレーションの実際とその検証
		島田 伸和 吉田 肇 力安 貞直 横山 雄三	管路系要素の流体損失
		高橋 勝 日當 博喜 村山 義夫 山崎 祐介 遠藤 真	居眠り海難の要因分析
		谷口 修弘 水口 文洋	ある事故を例としたボルトの破壊過程について
平成 6 年 1994年	第40巻 第1・2号 合併号 通巻 第58号	谷口 修弘 水口 文洋	流水中における梁の振動
		日當 博喜 古谷健太郎 渡辺 正人 寺本 定美	二軸巡視船の操縦運動モデルについて－Ⅰ－ 近似流体力係数による運動モデルの適合性－

年 度	巻号等	執筆者氏名	論 文 内 容
		日 當 博喜 深浦 裕紀 池田 英治 寺本 定美	巡視船の追波中の復原力減少に関する研究－Ⅱ－状態（排水量）変化に伴う復原力特性－
平成 7 年 1995年	第41巻 第 1 号 通巻 第59号	島田 伸和 吉田 肇	浮遊油膜の燃焼に関する研究の現状
		島田 伸和 吉田 肇	浮遊油膜の燃焼に関する実験的研究（第 1 報）
		高橋 勝	特殊救難隊の最適配置について－その 2
平成 7 年 1995年	第41巻 第 2 号 通巻 第60号	島田 伸和 吉田 肇 力安 貞直 横山 雄三	水撃作用による圧力上昇について
		横山 雄三 吉田 肇	ディーゼル機関の性能に及ぼす燃料添加剤の影響
		山田多津人	こじまの船内LANによるデータ取得と処理
平成 8 年 1996年	第42巻 第 1 号 通巻 第61号	竹中 康雄 西野 朝生	通航船舶実態調査におけるマスト高さの測定手法
		道本 順一 日 當 博喜 寺本 定美 高橋 勝	荒天下における曳船と被曳船の運動に関する研究（その 1，曳航索の運動も考慮した運動方程式の誘導）
		高橋 勝	自動操舵装置使用船舶の海難要因分析－その 1
平成 8 年 1996年	第42巻 第 2 号 通巻 第62号	吉岡 隆充 古室 雅義	芳香族環分解に関与する海洋バクテリアの同定
		力安 貞直 島田 伸和 吉田 肇	高温断熱材表面に滴下した軽油燃料の自発火
		池田 久志 竹中 康雄	オメガシステムの測位精度
平成 9 年 1997年	第43巻 第 1 号 通巻 第63号	竹中 康雄 山田多津人	レーダ映像記録解析装置の開発研究
		道本 順一 日 當 博喜 寺本 定美	荒天下における曳船と被曳船の運動に関する研究（その 2，曳航索の運動を考慮しないときの 2 船の運動）
		山地 哲也 高橋 勝	自動操舵装置使用船舶の海難要因分析－その 2
平成 9 年 1997年	第43巻 第 2 号 通巻 第64号	加島 政憲 古室 雅義 吉岡 隆充 森岡 幸一	オリマルジョンの特性（その 1）オリマルジョンの性状・ガスクロマトグラフィー・赤外吸収スペクトル
		八島 邦夫	海底砂堆地形の形成機構に関する一考察
		吉田 肇	燃料噴霧が混在する可燃混合気の点火および火炎伝ばに関する実験的研究
		吉田 肇	燃料噴霧が混在する可燃混合気の点火および火炎伝ば機構
平成10年 1998年	第44巻 第 1 号 通巻 第65号	山田多津人	レーダ観測による船の針路誤差及び速力誤差の解析
		道本 順一 日 當 博喜 寺本 定美 田中 明	荒天下における曳船と被曳船の運動に関する研究（その 3，曳航索の形状変化を考慮した索張力変動の計算）
		東 明彦	振動インテンシティを用いた構造物の制振設計に関する研究
		梅津 隆弘	水中衝撃波の計測に関する実験的研究

年 度	巻号等	執筆者氏名	論 文 内 容
		加島 政憲 古室 雅義 吉岡 隆充 森岡 幸一	オリマルジョンの特性（その2） ゲル浸透クロマトグラフィー・けい光分光法・けい光X線分析法
		吉田 肇 島田 伸和 力安 貞直	容器内浮遊油膜の燃焼に関する実験的研究（第1報）
平成11年 1999年	第45巻 第1号 通巻 第66号	道本 順一	防撓タンク壁の接水振動に関する一考察
		道本 順一 日當 博喜 寺本 定美	ニューラルネットワークを利用した船舶の旋回特性の推定に関する研究
		力安 貞直 島田 伸和 吉田 肇	繊維質高温断熱材表面に滴下浸透した重油燃料の自発火温度
		竹中 康雄 山田多津人 佐藤 尚登	F R P 製小型船のレーダ反射特性
		加島 政憲	風化した石油の赤外吸収スペクトル
		東 明彦 水口 文洋	振動特性の変化による亀裂の同定に関する研究（固有振動数に着目した場合）
		河本 直紀	講義実施計画表の自動作成
平成11年 1999年	第45巻 第2号 通巻 第67号	西野 朝生 長澤 明 山田多津人	ARPA技術の応用による通航船舶の航跡解析手法
		倉重 吉範 松居 秀明 竹中 康雄	UUCPを用いた海上移動体ネットワーク
平成12年 2000年	第46巻 第1・2号 合併号 通巻 第68号	東 明彦 水口 文洋	矩形平板における波動伝播に関する実験的研究
		神吉 隆司	ヘリシティ注入型スフェロマック・プラズマの電磁流体力学的平衡計算
		山本 淳 佐々木 稔 小川真由美 山本 有為 福田 直樹 前田 俊之	ERS-2高度計データから得られた1997年の黒潮続流の流路変動
		竹中 康雄 松居 秀明	インテリジェントゲートウェイサーバーを用いた海上移動体ネットワーク
		吉岡 隆充	ナホトカ号重油流出事故による日本海沿岸の海洋バクテリア相の推移

2 海保大教官の執筆した出版物

〔注記〕調査対象について

ここに掲げる書籍は、1983年（昭和58年）以降2001年（平成13年）7月までに発行されたもので、各教官が当大学校在任中に発行された市販本が中心である（一部海上保安庁の他部署職員であった時又は退官後に発行された出版物も含まれる）。なお、人事異動等のため調査対象期間の当大学校教官の関与した出版物全てを把握することは難しく、現在在任中の教官を中心に把握できた出版物に限らざるを得なかった点をあらかじめお断りしておきたい。

〔当大学校教官の退官記念論文集〕

- ・「海事法の諸問題」伊藤寧先生退職記念論文集・中央法規出版・昭60
- ・「海上保安の諸問題」国司彰男教授退職記念論集・中央法規出版・平2
- ・「海上犯罪の理論と実務」大國仁先生退官記念論集・中央法規出版・平5

〔校内で組織された研究会が編者となるもの〕

- ・「機関科1級2級3級口述標準解答集（上・下）」海上保安大学校海技研究会編・海文堂・昭62
- ・「海上保安事件の研究－国際捜査編」海上保安事件研究会編・中央法規出版・平4
- ・「海上保安と海難」海上保安問題研究会編・中央法規出版・平8
- ・「海上保安と環境」海上保安問題研究会編・中央法規出版・平11
- ・「新・海難刑事判例集」海上保安大学校海難刑事判例研究会編・東京法令・平11
- ・「海上保安と漁業」海上保安問題研究会編・中央法規出版・平12
- ・「海上環境刑事判例集」海上保安大学校海上環境法令研究会編・中央法規出版・平13

〔単著〕

- ・「海を駆ける風－女性キャプテン誕生の航跡」佐藤潤子・メディアハウス・昭63
- ・「時事ロシア語読本」井上研二・白水社・平元
- ・「海難政策論（改訂版）」藤岡賢治・成山堂書店・平6
- ・「海域利用調整と法」廣瀬肇・日本海洋協会・平7
- ・「海事事件鑑定人」横山雄三・成山堂書店・平8
- ・「マルチメディア時代の知的創造物法入門」佐藤薫・オーム社・平8
- ・「韓国語」清水徳之・日本加除出版株式会社・平12
- ・「知的財産権と知的創造物入門〔改訂2版〕」佐藤薫・オーム社・平13

〔翻訳本〕

- ・「ファンタジーの方法－ゴーゴリのポエチカーユーリィ・マン著」秦野一宏訳・群像社・平4

〔論説等が収録された記念論文集〕

- ・「商事法の解釈と展望」上柳克郎先生還暦記念・有斐閣・昭59
- ・「現代における刑事法学の課題」井上祐司先生退官記念論集・権歌書房・平元
- ・「梶井迪夫先生喜寿記念論文集」英宝社・平3
- ・「英語英文学研究」河井迪男先生退官記念論文集・英宝社・平3
- ・「交錯する言語」新谷敬三教授古稀記念論文集・名著普及会・平4
- ・「現代における憲法問題の諸相」小森義峯教授古稀記念論集・国書刊行会・平6

- ・「刑事法学の新動向」下村康正博士古稀記念論文集・成文堂・平7
- ・「アメリカ刑事法の諸相」鈴木義男先生古稀祝賀論文集・成文堂・平8
- ・「市民社会と刑事法の交錯」横山晃一郎先生追悼論文集・成文堂・平9
- ・「国家管轄権」山本草二先生古稀祝賀論文集・劉草書房・平10
- ・「西原春夫先生古稀祝賀論文集」成文堂・平10
- ・「宮澤浩一先生古稀祝賀論文集」成文堂・平12
- ・「刑事法学の潮流と展望」大野眞義先生古稀祝賀記念論文集・世界思想社・平12
- ・「憲法と行政法の現在」伊藤満先生米寿記念論文集・北樹出版・平12

〔共著または執筆原稿が掲載された書籍〕

①自然科学系

- ・Nonassociative Algebras and Related Topics, Edited by Kiyosi Yamaguti and Naoki Kawamoto(河本直紀), World Scientific, Singapore, 1991

②文学・語学系

- ・「共同研究 日本とロシア第3集」中村喜和編・ナウカ社・平4
- ・「ロシア文化と日本 明治・大正期の文化交流 国際討論」中村喜和/トマス・ライマー編・彩流社・平7
- ・「スラブと日本(講座スラブの世界第8巻)」原暉之/外川継男編・弘文堂・平7
- ・A Hidden Fire. Russian and Japanese Cultural Encounter, 1868-1926・Edited by Thomas Rimer, Stanford Uni., 1995
- ・「ロシア研究の伝統と最前線ー早稲田大学露文科復活50年の歩みー」早稲田大学文学部ロシア文学専修(発行人)・平9
- ・「ロシア文化と近代日本」奥村剋三他編・世界思想社・平10
- ・「現代言語学の射程」管山謙正編・英宝社・平12

③法学系

- ・「判例辞典」中川淳編集代長・六法出版社・昭58
- ・「演習刑事訴訟法」青林書院新社・昭59
- ・「民事特別法の諸問題第1巻」第一法規出版・昭60
- ・「憲法概説」松島諄吉他編・晃洋書房・昭62
- ・「民事特別法の諸問題第3巻」第一法規出版・平2
- ・「刑法判例百選Ⅰ総論〔第3版〕」ジュリスト別冊・有斐閣・平2
- ・Biothechnologie, Ethik und Recht im Wissenschaftlichen Zeitalter, Hrsg.T.D.Campbell, Franz Steiner Verlag, 1991
- ・「憲法と市民生活」土居靖美/網中政機編著・嵯峨野書院・平4
- ・「基本行政法」村上武則編・有信堂高文社・平4
- ・「刑法判例百選Ⅱ各論〔第3版〕」ジュリスト別冊・有斐閣・平4
- ・「行政法(改訂版)」高田敏編著・有斐閣・平5
- ・「応用行政法」村上武則編・有信堂高文社・平5
- ・「地方自治判例百選〔第2版〕」ジュリスト別冊・有斐閣・平5
- ・「火災と刑事責任」中山・米田編・成文堂・平5
- ・「国際関係法辞典」国際法学会編・三省堂・平成7
- ・「漁業権・行政指導・生産緑地法」日本土地法学会・有斐閣・平7
- ・「刑法マテリアルズ」西原春夫他編・柏書房・平7

- ・「論考 憲法学Ⅱ（人権論）」榎原猛他編著・嵯峨野書院・平8
- ・「海と川をめぐる法律問題」成田頼明/西谷剛編・（財）河川自治振興財団（発行）・平8
- ・「現代倒産法・会社法をめぐる諸問題」民事法研究会・平8
- ・「商法における表見法理」中央経済社・平8
- ・「刑事訴訟法基本判例解説（第3版）」渥美東洋編・三嶺書房・平8
- ・「演習ノート刑法各論（全訂版）」岡野光雄編・法学書院・平8
- ・「刑法判例百選Ⅱ各論〔第4版〕」ジュリスト別冊・有斐閣・平9
- ・「特別刑法判例研究第1巻」佐々木史朗編・判例タイムズ社・平10
- ・「刑法判例百選Ⅰ総論〔第4版〕」ジュリスト別冊・有斐閣・平10
- ・「ゼミナール刑法〔総論〕」三原憲編著・成文堂・平10
- ・「ゼミナール刑法〔各論〕」三原憲編著・成文堂・平11
- ・「初めての法学」抱喜久雄編・法律文化社・平11
- ・「行政判例百選Ⅰ〔第4版〕」ジュリスト別冊・有斐閣・平11
- ・「イエシェック＝ヴァイгент ドイツ刑法総論第5版」西原春夫監訳・成文堂・平11
- ・「基本判例5 刑法総論」曾根威彦/日高義博編・法学書院・平11
- ・「法律人工知能」吉野一他著・創成社・平12
- ・「レッスン法学」目崎哲久/國友順市編著・嵯峨野書院・平12
- ・「刑法の争点〔第3版〕」ジュリスト増刊号・有斐閣・平12
- ・「基本問題刑事訴訟法」椎橋隆幸編・酒井書店・平12
- ・「判例経済刑法大系第1巻」佐々木史朗編・日本評論社・平12
- ・「ワークスタディ刑法（総論）」島岡まな編・不磨書房・平13

④検索・救助系

- ・「IMO捜索救助便覧（英和対訳）」海上保安庁救難課監修・海文堂出版・昭58
- ・「商船捜索救助便覧（英和対訳）」海上保安庁救難課監修・海文堂出版・昭58

⑤工学・通信・技術系

- ・「海上保安事件の研究－海難工学編」池田英治・高橋勝・日當博喜共著・中央法規出版・平4
- ・「計測・制御技術（超精密生産技術大系第3巻）」河野嗣男他編・フジ・テクノシステム・平7
- ・「上級シスアド合格完全対策」経林書房・平9～13
- ・「船用補機の基礎」重川亘/島田伸和共著・成山堂書店・平13

⑥測地・測量系

- ・「海洋土木辞典」産業調査会・昭58
- ・「日本全国沿岸海洋誌」日本海洋学会・沿岸海洋研究部編・東海大学出版会・昭60
- ・「地形学辞典」町田貞他編・二宮書店・昭60
- ・「地球観測ハンドブック」友田好文他編・東海大学出版会・昭60
- ・「世界の地理」（週刊朝日百科増刊号）朝日新聞社・昭61
- ・「測地測量（現代測量学第5巻）」日本測量協会創立30周年記念「現代測量学」出版委員会編・日本測量協会・昭61
- ・「海洋（南極の科学8）」国立極地研究所編・古今書院・平元
- ・「続日本全国沿岸海洋誌」日本海洋学会沿岸海洋研究部会編・東海大学出版会・平2
- ・「測量学事典」日本測量協会・平3
- ・「海と地球環境」日本海洋学会編・東京大学出版会・平3
- ・「仙台とその周辺エスカーションガイド」東北地理学会・平4
- ・「地球を観測する（地球観測セミナー2）」坂田俊文総監修・オーム社・平5

- ・「海洋調査フロンティア」海洋調査技術学会編・平6
- ・「地図学用語辞典 増補改訂版」日本国際地図学会編・技報堂出版・平10

IX 本科学生特別研究報告

第7期生

昭和35年度

課程	学生氏名	研究テーマ	指導教官
機 機	大西 浩之 島田 兵二	直流発電機の伝達函数について	平野新太郎 永吉 甫 渡辺 文作
機 機	君塚 彌六 植原 忠国	クランクピンボルトの曲げ	桑原儀三郎 金子 昇
機 機 機	波多江数正 景山帝次郎 宮崎 光司	55馬力内燃機関の設計及び強度計算	清水 信重 小高 重郎
機 機	小野 孝 高木 昂	蒸気噴射式バーナー（内部混合式）について	阿部 秀明
機 機	松田 和夫 松尾 安之	潤滑油添加剤（減摩剤）の効果に関する研究	小川 勝
機 機	隈部 善根 辻 輝夫	内燃機関消音器の性能	山本 平彌
機 機	赤沢 昭男 菊池 威彦	冷凍機に関する若干の実験	重川 亘 邊見 正和

第8期生

昭和36年度

課程	学生氏名	研究テーマ	指導教官
航	田所 征彦	ローテス号事件を通してみた公海に於ける船舶の衝突時の管轄権と諸問題点 海洋の分割と領海の幅員	林 久茂
航	中本 博文	領海に於ける外国商船の国際法的地位	林 久茂
航	本多 悦郎	囹捜査について	飯田 忠雄
航	麻生 利勝	海上保安業務に関する情報理論	飯田 忠雄
航	伊藤 實	瀬戸内海における工業の発達に伴う水質汚濁、海岸埋立による漁業補償について	杉田 憲治
航	谷口 豊	海難救助責任論	
航	平田 二郎	高等海難審判庁採決取消請求事件	
航	馬屋原 博	漂流船捜索に関する若干の考察	伊藤 義靖 佐々木茂人
航	辻 利雄	指紋の気相検出	養祖 貞夫 木佐木健之助
航	山田 静馬	捜索海面設定に用いる漂流速度算式の検討並びにその対策	伊藤 義靖 佐々木茂人
航	川崎 弘 柳田 幸三	来島海峡における海難防止対策	榊 正三 伊藤 寧 木佐木健之助
航	小松 文夫	三稜分度器と新三稜分度器（試作品）との長所、短所の比較研究並びに改良	藤崎 正治
機 機	崎浜 和彦 六車 正彦	金属接着における接着強度に影響を及ぼす因子について	桑原儀三郎 金子 昇
機 機	森岡 保勝 田淵 勝	廃油の現場再生について	小川 勝

機 機	大賀 猷二 橘 徳一	三胴型水管式ボイラーの強度計算	阿部 秀明
機 機	大鍋 壽一 斉木 日出夫	交流発電機の動機化方程式の係数決定について	平野新太郎
機 機	尾崎 宏邦 尾造 靖雄	自吸ポンプについて	重川 亘
機 機	佐藤 勝幸 富森 秀人	55馬力内燃機関の設計及び強度計算	横山 雄三
通	山崎 浩二	現物出資と無額面株式	飯田 忠雄
通	福崎 清	違法な自由	阪村 幸男
通 通	小林 也俊 谷口 雅文	電子計算機	折出 巖
通	津川 健二	雑音指数の概観	小野 確良
通 通	石谷 恒夫 河内 英世	SSB送信機における音声処理について	谷村聖二郎
通 通	井林 藤朗 緒方 孝文	安定化電源の試作並びに性能測定	高橋 康正
通	山崎 和男	超短波空中線	
通	金井 吾朗	SSB方式に採用される広帯域移相回路の理論と特性	

第9期生

昭和37年度

課程	学生氏名	研究テーマ	指導教官
航	尾形 宏三	原子力船に対する安全管理	渡辺加藤一
航 航	佐々木忠志 武井 立一	海上保安官の行う海難救助の限界（遠洋救難における巡視船の行動限界を探る）	佐々木茂人
航 航 航	赤石 憲二 菅野 瑞夫 中村 弘毅	関門海峡の海難について	榊 正三
航	山田 忠雄	機帆船の安全性と横動揺周期	佐々木茂人
航	西岡 明夫	三陸沖・南方定点における躍層の変化	能沢源右エ門
航	西野 朝生	染料による指紋検出	養祖 貞夫 木佐木健之助
航	本村 凱男	統計上よりみた船員の災害及び疾病並びにそれに関する諸対策について	安東 富雄
航	半谷 肇	授權資本制度及び無額面株式制度採用における現行商法への立法論的考察	平田伊和男
航	石原 正久	海上保険損害	平田伊和男
航	佐々木忠志	海上保安庁の行う海難救助の限界	飯田 忠雄
航	田所 満一	継続追跡権の理論－I'malone号事件を中心として	林 久茂
航	北澤 法隆	潜水艦による領海侵犯	林 久茂
航	原 康次	プライバシーの権利－特に報道の自由との関連において	杉田 憲治
航 航	梁木忠三郎 杉本 博之	船員労働問題についての一考察	山根 正義
航	下江 旭	黙秘権の見地からみた嘘発見器の法的地位	阪村 幸男
機 機	大槻 武虎 竜口 康文	軸流送風機の試作	重川 亘 本野 司郎
機 機	藤井 宏之 山口 晃	蒸気噴射式バーナーについて	阿部 秀明
機 機	今川 英一 津田 勝久	15kw発電機原動機の変速変動率の測定	三好 豊 横山 雄三

機 機	波藤 錠一 松本 務	クランクピンボルトの締付時におけるボルトの三次元的曲げについて	桑原儀三郎
機 機	谷 弘 東 公右	一サーボ系の動特性について	山本 平彌
機 機	石井 政治 萩原 右門	3 K V A 三相交流発電機の定常及び過渡状態における諸定数の測定	平野新太郎 永吉 甫 渡辺 丈作
機 機	赤坂 史郎 高野 恒利	油性特性について	小川 勝
通	森山 英隆	MS-F 5 号方位測定機の性能向上について	井上久四郎
通 通	加藤 茂樹 瀬並 和弘	MS-F 4 号超短波無線電話送受信機について	高橋 康正 小野 確良 谷村聖二郎
通	紺野 年弘	MS-84号受信機の経年変化と性能向上	石川 清美
通	笹井 光雄	航空機の遭難通信	指導教官なし

第10期生

昭和38年度

課程	学生氏名	研究テーマ	指導教官
航	竹城 義典	李ラインに関する諸問題	林 久茂
航	徳野 勤	小型船の船内磁場とコンパスについて	堀内 雅文
航 航	中谷 一郎 寺川 義彦	航行援助施設に関する一考察	宮崎 正名
航	藤岡 賢治	漁業紛争における正当防衛	伊藤 寧
航	田坂 良一	能率のよい海上保安（管区制を主として）	
航 航	山川 正 吉田 良治	原子力船の港内における問題点	渡辺加藤一
航	磯道 周作	瀬戸内海機帆船航路における小型船舶の交通量とそれに及ぼす潮流の影響	榊 正三
航 航	田島 邦雄 成田 重人	自動化船における労務管理	菅原 大
航	市野 博志	海上衝突事件の刑事責任について	阪村 幸男
航	川口 正之	風による波の発達について	能沢源右エ門
航 航	陶山 高志 田淵 哲	小型船の復元性能について	佐々木茂人
機 機	足立 有功 山田 哲雄	ボイラー水面計に影響する要素とその程度について	阿部 秀明
機 機	大浜 博務 坂本 務	自励交流発電機の特長について	平野新太郎 永吉 甫
機 機	児玉 光治 桑原 康記	重油添加剤の漏洩混入がシステム油に及ぼす影響	小川 勝
機 機	一の宮和久 加島 政憲	引張試験における薄鋼板試験片の寸法効果	桑原儀三郎
機 機 機	中山 三土 丸田 忠 柳沢 勇二	サーボメカニズムの動特性の改善について	山本 平彌
機 機	大岩 勇 加藤 憲治	新型自吸ポンプの無効水通路の長さについて	重川 亘 本野 司郎
通 通	則包 辰男 坂手 敏郎	トランジスタ増幅器について	折出 巖
通	今井 孝至	SSB送信機的设计	谷村聖二郎
通	朝倉 敏夫	Yacht Racing Wind and Current	吉中百合雄
通	織田 賢二	空中線定数の測定法	小野 確良

通	下村 輝久	我が国の海上における重要3波について	村瀬 宏 磯部 英雄
通	大谷 義人	重要3 (500KC、2091KC、2182KC)の規則における国際法と国内法の相違点について	村瀬 宏 磯部 英雄

第11期生

昭和39年度

課程	学生氏名	研究テーマ	指導教官
航	赤星 珪一	レーダーによる衝突予防の解析	榊 正三
航	小林 進	各種人工呼吸法における比較研究	千葉 新治
航	毛利 俊輔	犯罪捜査と基本的人権の保障	杉田 憲治
航	十河 郁夫	漁業関係施行法令違反に於ける漁船船主の刑事責任について	
航 航	坂本 敏男 北村 敬介	原子力船の放射能測定に關しての基礎問題について	渡辺加藤一
航	湯山 典重	統率（統率の効果、統率者の資質）	大山 雅清
機 機	石田 米治 久保田 勝	ペッターエンジンのガバナーテスト	三好 豊 横山 雄三
機	茅島 俊介	組織の概念	林 久茂
機	木下 正利	William H. McAdamsによる熱伝導の研究	重川 亘
機 機	三室 範正 力安 貞直	潤滑油の粘度指数計算表の作成	小川 勝
機 通	高橋 郁生 高知尾 隼	潜水艦の安定性	榊 正三
通 通	阿部 四郎 白石 主税	送信術に於ける上達過程の研究	村瀬 宏
通 通	岩西 武利 川上 貴裕	ビデオアンプの性能向上について	高橋 康正
通	瀬戸 俊典	6脚磁心6素子並列型可飽和リアクトルの出力波形について	平野新太郎

第12期生

昭和40年度

過程	学生氏名	研究テーマ	指導教官
航 航 航	池田 浩二 友永 幸讓 森 征四郎	曳航に関する諸問題	佐々木茂人
航	岩男 登	警察比例の原則についての研究	飯田 忠雄
航 航 航	兼友 祥郎 栗原 英二 神明 孝	最近の統計にみる小型船舶の海難に関する若干の考察	堀内 雅文
航 航	川口 曉 高木 克之	遭難船救助に関する一考察（搜索法諸係数比較）	榊 正三
航	川口 忠	情報における記憶の確度について ー視覚を中心とするー	飯田 忠雄
航	嶋 昭恵	沿岸漁業と漁業権ー捜査への一指針ー	大國 仁
航 航	高橋 迪 津田 眞吾	航空機による搜索救難における特殊性	榊 正三
航	平田 照彦	小型機船底引網漁業の実態（松山、宇和島保安部を中心とした）ー搜索への一指針ー	大國 仁
航	福田 潔	原子力船と海洋汚染（資料蒐集其のⅠ）	相良 吾郎
航	堀田 広志	瀬戸内海の霧	能沢源右衛門
航	松田 邦広	共犯理論共謀共同正犯	阪村 幸男
航	山本 次郎	6420号台風による神戸港海難原因について	
機 機	伊藤 晋 藤原 英昭	2組の信号ノズルを持つ空気圧式論理素子の接続特性について	山本 平彌
機	上野 広嗣	公海に於ける漁業取締り	飯田 忠雄

機 機	金山 義信 東 伊一郎	反復流入タービンの特性実験	坪本 省吾 平野新太郎
機 機	菅野 建夫 菊池 繁	引張、圧縮の単純応力が材料強度に及ぼす影響について	桑原儀三郎
機	熊谷 幸男	界面活性剤による潤滑油の乳化防止の研究	小川 勝
機 機	小暮 朋夫 前川 治郎	文献による伝導、対流、輻射伝熱の研究	重永 亘
機	瀬戸岡利昭	潤滑油の酸化に関する研究 [金属触媒作用について]	小川 勝
機	日高 三郎	曳船が主機に及ぼす影響について (曳航船の曳索に生ずる張力)	桑原儀三郎
機 機	糸山 文夫 吉田 拓蔵	自励式交流発電機の無負荷特性における電圧確立について	平野新太郎 永吉 甫
通 通	青山 温彦 広瀬 玉光	ラプラス変換の電気回路への応用	林田 秀人
通 通	後藤 忠司 中田 貴己	Digital Automatic Computerについて	高橋 康正 平野新太郎
通 通	斎藤 弘昭 星川 崇之	オシロスコープの試作アダプターによる同期回路の改良とトランジスタブートストラップ掃引回路の解析	中野章四郎 折出 巖 内海 靖之
通 通	田中 耕蔵 渡辺 正昭	SSB通信に於ける同期づれと通話品質との関係	小野 確良 谷村聖二郎

第13期生

昭和41年度

課程	学生氏名	研究テーマ	指導教官
航 航	青木 稔 清水 昭夫	カツオ・マグロ漁業と海難	堀内 雅文
航 航 航	今里 鐵男 木浪 昭夫 布 晃	漁船の海難について	堀内 雅文
航	岡嶋 宣昭	鋼船船底塗料に対する β -線の前方散乱について	相良 五朗
航 航 航	川原 忠彦 小林 建夫 後藤 光征	航空搜索及び航空救難	榊 正三 宮崎 正名
航 航	北岡 洋志 佐伯 忠男	載貨による海難と海上保安業務	佐々木茂人 栗田新五朗
航 航 航	小坪 募 田中 秀典 寺本 定美	荒天碇泊中の船体振れ回りについて	佐々木茂人
航	鈴木 公人	行政組織の決定制度	林 久茂
航	津田 孝則	司法警察職員の不法行為に関する国家賠償	杉田 憲治
航	中林 芳宏	行政犯に於ける故意に必要な事実の認識	伊藤 寧
航	仁後 宜郎	麻薬密輸事犯における最近の傾向とその対策	飯田 忠雄
航	廣瀬 肇	証拠収集手続の違法と証拠能力	大國 仁
航	福田 雅義	行政法規の課する申告記帳義務と黙秘権の関係	杉田 憲治
航	森 鐵男	財産罪における「不法領得の意思」	阪村 幸男
機 機	阿武 征雄 神村 紘紀	反復流入タービン発電機について	三好 豊
機 機	池田 透 清水 公仕	潤滑油の品質と酸化	小川 勝
機	井上 健夫	“こじま” 主機関の特性 (熱力学的考察)	三好 豊
機 機	奥村 弘之 松尾 英敦	風洞気流の乱れの測定	重川 亘 坪本 省吾 金子 昇

機 機	笠島 晃治 志柿 幸雄	可飽和リアクトルの制御動作に対する基本的考察	平野新太郎
機 機	坂本 政彦 永尾伸太郎	引張、圧縮の単純応力が材料強度に及ぼす影響について	桑原儀三郎
機 機	中村 巖 野々山邦雄	ステップモータの特性について	山本 平彌
通 通	池田 利武 成井 恵介	インターキャリヤ方式に於けるテレビ受信機の音声障害について	小野 確良 谷村聖二郎
通	斉藤 宏	負帰還増幅器	高橋 康正
通	佐藤 彰男	電波法と国際電気通信条約の比較対比	中野章四郎
通	新城 勝次	海洋法に関するBrierlyの見解	林 久茂
通 通	高田 武志 森山 洋一	計数装置の試作	折出 巖 小野 確良

第14期生

昭和42年度

課程	学生氏名	研究テーマ	指導教官
航 航 航 航	加藤 純次 佐藤 誠三 清水日出吉 盛 孝	“見張り不十分”を原因とする衝突事故の研究	堀内 雅文 片岡 勝之
航 航	長井 孝一 佐藤 義人	Dutton; Navigation and Piloting Chap. XVI Introduction to Celestial Navigationと、U.S.C. G; Specimen Examinations for Merchant Marine Deck Officersの翻訳と研究	柳 正三 嶋田 和治
航	山口 美嗣	海上警察権の研究	飯田 忠雄
航 航 航 航	川村 昇 小松 敏夫 春原 公人 山脇 信隆	外書講読「Ships in rough waters」	佐々木茂人
航 機	長濱 義昭 小原 正則	写真	養祖 貞夫
航 航 航 通	岡 洋司 兒林 秀雄 島坂 治朗 西村 恒彦	外書講読および「海洋法」に関する諸問題	林 久茂
航 機 機 通	金田政治郎 末吉 達雄 宮崎 忠弘 米倉 彰弘	塗膜片の識別	木佐木健之助
機	佐藤三寿夫	最適操縦法の一応用例および練習船「こじま」の逆転停止性能についての一考察	山本 平彌
機	高橋 正	(i) Littherd KattLe : Reactor (ii) Reactorにおけるpoisoningについて	相良 五朗
機	中村 直行	潤滑油の粘度指数計算表作成	小川 勝
機	林田 直道	鑄鉄の成長	桑原儀三郎
機	村上 彰	燃料油に含まれる硫黄分の定量法	小川 勝
機	村上 克久	ボイラ	三好 豊
機	山口 坦之	指圧線図からの燃焼率の計算、考察	重川 亘 横山 禅一
機 機 通	加護 昭洋 福岡 清 高山 守弘	FACOM231電子計算機ALGOL Programming	平野新太郎
機 通	清野 賢 松永 敬典	オペレーションズ・リサーチの数学的方法	藤崎 正治
通 通 通	中利 光男 船木 重雄 松本 唯男	I 無線工学関係原書講読 II 回路素子の特性研究及び応用	小野 確良 高橋 康正 谷村聖二郎 折出 巖 石川 清美 内海 靖之

第15期生

昭和43年度

課程	学生氏名	研究テーマ	指導教官
航	青木 快幸	鑑識（塗膜の固定問題）	木佐木健之助
航 航 航 航	上田 克巳 田中 明 濱本 武男 松岡 賢次	マースデンによる海上衝突予防法註記	堀内 雅文
航 航 航	植田 良美 丸山 明夫 三木 馨	海上交通工学について	榊 正三
航 航 航	佐々木邦昭 寺戸 浩一 副島 宏次	Physical Oceanographyの輪読（海洋学）	能沢源右衛門
航 航	下村 典夫 大西 孝一	鑑識（写真の応用問題）	養祖 貞夫
航 航 航	杉原 和民 野一色修平 河合 陽一	危険についての一考察（概念と往来危険判例）	大國 仁
航	鶴迫 正人	民法「意思表示」について	野上 鉄夫
航 航	福味 定武 横山 鐵男	マニラ索及び合成せん維索の強度に関する研究	佐々木茂人 矢野 健爾 千葉 新治
航	和田 義男	警察の取調権限とその限界	阪村 幸男
航 航 通	亀井 豊 高橋 勝 老松 建成	Statistics: AnIntroduction by D.A.S Fraserの講読（確立分布とその応用）	福田悌次郎
機	小川 辰夫	船の操縦性能を決定する各要素の研究と操舵機馬力一定の条件下で変針時間最小のための舵面積比と舵角速度について	山本 平彌
機 機 機	高坂 一憲 倉住 利彦 北風 紘	船用再熱蒸気、ガスタービンプラントについて	三好 豊 重川 亘
機 機	下沖 秋男 堤 幸久	すべり軸受の流体潤滑理論	小川 勝
機 機	田原 信朝 寺田 敏洋	ディーゼル機関の熱発生率の計算	重川 亘 横山 雄三
機	那波 克康	ショア硬度に及ぼす各要素の影響について	桑原儀三郎
機	吉岡 實	小型風洞用天秤の試作	重川 亘
機 通	尾崎 誠一 綾塔輝美造	単相誘導電動機の矩形波駆動時の各部電流波形について	平野新太郎
通 通 通	横山 稔 高橋 勤 山脇 勝夫	電子計算機についての基礎的研究 電子計算機の誕生とその発展 10進カウンター その（一）、その（二）	石川 清美 堂本 幹夫

第16期生

昭和44年度

課程	学生氏名	研究テーマ	指導教官
航 航 航 航	五十嵐一馬 今井 秀政 川原 一正 藤岡 貞雄	海難審判の研究	堀内 雅文
航	尾野 志朗	犯罪事実現認報告書について	栗田新五朗 藤本 整司 大國 仁
航 航	黒川 曉博 松本 政明	海水汚濁について	養祖 貞夫

航 航	坂本 茂宏 橋本 良明	統計的推測	福田悌次郎
航	清水 尊志	刑法と国際法の接点—いわゆる北島丸事件を中心として—	大國 仁
航 航	下川 宏 竹本 憲二	塗膜分析の2、3の方法について及びその他	木佐木健之助
航 航	橋本 博文 横山隆之介	鑑識への写真応用 (Nega film による位置の決定及びその精度について、其の他)	養祖 貞夫
航	早船 猷司	Radar Navigation Air Navigation	嶋田 和治
航	水谷 勝	社会統制手段としての法	大國 仁
航	矢羽野弘司	水汚染の現況と現行法体制	野上 鉄夫
機	岩瀬 操	潤滑油の泡立ちに関する研究	小川 勝
機 機 機	石川布二夫 柏原 賢一 橋本 清和	スーパーソニックフローの研究	
機	大塚 敏郎	ディーゼルエンジンにおけるピストン温度の測定	横山 雄三
機 機	上永 俊彦 三谷 徹	SCRインバーターによる同期電動機の運転について	平野新太郎
機	原 信義	ロータリーエンジンの問題点	
機	山名 利美	亀裂深度計による測定例	桑原儀三郎
機 通	作田 幹雄 竹中 康雄	オペレーション・リサーチと実用数学	藤崎 正治
通 通	鈴木 晴志 吉田 民平	テレビジョン受信機	高橋 康正
通	土屋 誠	電子計算機	折出 巖

第17期生

昭和45年度

課程	学生氏名	研究テーマ	指導教官
航	東 正美	公害の特色と公害訴訟の問題点	野上 鉄夫
航 航	石井 吉栄 増田 正司	瀬戸内海における砂利船の海難とその背景に関する考察	今野 宗郎
航	海老名伸世	行政犯における場所的効力—第八北島丸事件について	飯田 忠雄
航 航 航 航 航	大岩 尚志 坪井 幸藏 野網 仁 村井 正広 吉本 昌由	音戸の瀬戸の海上交通の現状	佐々木茂人
航 航	小川 哲郎 小倉 秀	潜水生理及びヘリウム—酸素潜水	吉中百合雄
航	小畑 芳朗	海上における公務執行妨害罪	大國 仁
航	工藤 博	数理統計について	福田悌次郎
航	佐々木 基	共謀共同正犯理論の展開	大國 仁
航	世良 邦夫	国際法 継続追跡権の考察	水上 千之
航	中島米太郎	国際私法における当事者自治の原則の限界	野上 鉄夫
航 航	鷹 良三 渡辺 芳政	鑑識への写真応用 (Nega filmによる位置決定とその精度について)	養祖 貞夫
航	三次 明	現代日本民主主義社会におけるマスコミュニケーションの問題	杉田 憲治
航	村瀬 佳宏	海上保安制度論	國司 彰男
機	安部 憲治	憲法第31条の意義 (適法手続と罪刑法定主義)	杉田 憲治
機 機	佐藤 清志 三浦有二郎	McMurray改良形並列Inverterによる単相電動機の運転について	平野新太郎
機 機	清水 徹 田中 惇	ディーゼル機関燃焼率の研究について	横山 雄三
機	竹内 健介	ガソリンエンジンの設計	谷口 修弘
機	中川 俊人	油類の現場簡易試験法	小川 勝

機	富賀見栄一	オン・オフ制御動作の解析	山本 平彌
機 機	松浦 和行 安岡 一乗	渦巻ポンプの径向きスラストの研究	重川 亘
機	村上 暦造	立入検査権の法理	國司 彰男
通	上原 伸之	アナログ計算機について	黒木 慶平
通 通 通	喜多野 清 中村 進哉 村越 修	TV受像機回路の研究	高橋 康正
通	佐藤 政彦	半導体理論、半導体装置	折出 巖 黒木 慶平
通	田中 誠	データ伝送について	荻野 芳造
通 通 通	田中 正昭 眞角 孝吉 原 猛	電子計算機（ソフトウェア）	石川 清美

第18期生

昭和46年度

課程	学生氏名	研究テーマ	指導教官
航 航 航	大上 和昭 堅田 豊 高尾 留雄	船舶のコンピューター利用（ソフトウェアとして）	石川 清美
航	川島 豊	船舶の衝突による損害賠償関係	野上 鉄夫
航	北村 鉄男	国家賠償をめぐる若干の問題	杉田 憲治
航	坂元 正美	航空機による救難を必要とした海難の事例研究	
航	櫻井 洋	海上交通工学（狭水道に於ける小型船舶の実態調査・解析）	榊 正三
航	紺谷 均	行政代執行法の意義とその対象となる義務	今野 宗郎
航 航 航	志賀 薫 多田 一司 大和 義明	錨の把駐特性	佐々木茂人
航	柴山 洋	船の抵抗	桑田 昇
航	竹林 啓二	信頼の原則	野上 鉄夫
航	長澤 明	基本的理論回路	黒木 慶平
航	二宮 賢次	転覆船内生存者の救出法に関する一考察	若松 三郎 北岡 洋志
航	濱田喜代治	公害について	木佐木健之助
航	藤中 忠士	海洋開発における海の基本図について	歌代 慎吉
航	松尾 和弘	リッチモンド丸事件に現れた過失の検討	大國 仁
航	宮路 公一	情報とその理論	藤本 整司
航	宮脇 史朗	鑑識への写真応用	養祖 貞夫
航	森 淳一郎	海水中における溶存酸素の経時変化について	木佐木健之助
機 機 機 機	上田 広一 白濱 嗣治 西田 芳正 山田 勇	海上公害に関する基礎的研究	小川 勝
機	改発 康一	ビッカース硬さにおける異方性の問題	桑原儀三郎
機 機	匂坂 正久 蟬谷 義明	整流格子の寸法の検討	重川 亘
機 機	堤 康二 西谷 三廣	単相誘導電動機の解析	平野新太郎
機 機	丸山 隆二 水口 文洋	調速機とその制御系—とくにHuntingについて—	山本 平彌
通 通	磯谷 兵衛 田中 幸人	アナログ計算機における線形演算要素について	石川 清美
通	笠井 啓	鋸波発信回路の定数決定	林 久茂
通	長野 和幸	マイクロ波空中線の考察	荻野 芳造
通	山本 哲雄	AMPLIFIERの解析	谷村聖二郎

第19期生

昭和47年度

課程	学生氏名	研究テーマ	指導教官
航	相澤 修一	損害賠償額の算定法	小林 迪雄
航	飯嶋 了三	タンカーによる流出油事故に関する一考察	堀内 雅文
航	石井 和夫	公害犯罪に関する考察－法人の処罰を中心として－	藤本 整司 國司 彰男 伊美 克巳 廣瀬 肇
航	石川 幸光	公害の民法的考察（民法717条の考察）	小林 迪雄
航	石橋 幹夫	海洋汚染防止法とジュリアナ号事件	藤本 整司 國司 彰男 廣瀬 肇
航 航 航	磯貝 正夫 織戸 孝治 渡部 典正	Theory of Ship Motion	桑田 正秀
航	江尻 信久	不法行為における違法性の判断について	小林 迪雄
航	金丸侑二郎	海上公害に関する若干の行政的考察	藤本 整司 國司 彰男 廣瀬 肇
航	唐島 和夫	公害における私法的救済	小林 迪雄
航	佐瀬 和正	日ソ漁業問題について	水上 千之
航 航	汐崎 慎二 橋本 工	海洋開発	歌代 慎吉
航	鈴木 誠	行政上の事前手続の問題点	杉田 憲治
航	須長 三郎	北方領土	水上 千之
航	内藤 優治	公害法における因果関係	小林 迪雄
航	西口 政文	海水中に含まれるイオンの検出について	木佐木健之助
航	錦郡 満	自白の証拠能力と最高裁	大國 仁
航	西村 敏和	港長行政の法的構造とその権限	國司 彰男
航	増子 直行	慣習国際法上の大陸棚制度（北海大陸棚事件をもとに）	水上 千之
航	宮内 健	公害問題と行政	藤本 整司 國司 彰男 廣瀬 肇
航	諸富 格	海面上の油膜を視認、撮影しうる状態条件の解明	木佐木健之助
航	安光 裕幸	出入国管理の概況	水上 千之
航	山本 章	Hugo Grotius	水上 千之
航	山本 幸典	自白の補強法則と最高裁	大國 仁
航	吉村 邦夫	公害の民法的考察（過失における注意義務）	小林 迪雄
航 航 機	相馬 秀世 森 吉高 橋本 章	数理統計の研究	福田悌次郎
機 機	池上 隆 比良 和年	燃料噴射率の計測と計算	横山 雄三
機 機	石田 清憲 藤原 文隆	誘導電動機における突発短絡現象	平野新太郎
機 機	牛沢 章 渡辺 敏明	吸気運転時のうず巻ポンプの性能について	重川 亘
機 機 機 機	臼田 重雄 高田 正 日高 秀希 松野 清	潤滑油の酸化がその性状に及ぼす影響について	小川 勝
機	平家 隆雄	機関性能の計算（分割燃焼室付きディーゼル機関の熱発生率の計算）	横山 雄三

通	上野 隆司	OKITAC-4300アセンブラ言語のOKISAP43と機械語について	林田 秀人
通	斉藤 信博	マイクロ波の研究	荻野 芳造
通	平野 賢治	OKITAC-4300におけるコンパイラ入力の構造について	林田 秀人
通	八木 康夫	「Das Deutsche Strafrecht, Welzel」における過失犯理論 (Auflage11)	伊藤 寧

第20期生

昭和48年度

課程	学生氏名	研究テーマ	指導教官
航 航 航	赤塚 浩一 井野眞輝男 住田 哲夫	カーフェリーについての考察	堀内 雅文 山田 章夫
航 航	石田 康雄 東原 健	大学校検潮所における潮汐観測	歌代 慎吉
航 航	石間 聡孝 城野 功	小型鋼船のメタセンタ及び浮心上下位置を求める近似式について	桑田 昇
航	近藤 清高	ドップラー・ソナーナビゲーションシステムについて	堀内 雅文
航 航	菅原 正春 松本 宗	排水量計算とプログラム	佐々木茂人 矢野 健爾 林田 秀人
航	田原 卓成	海上交通の研究	平野新太郎 嶋田 和治
航 航 航	辻 重男 宮本 一志 渡邊 三郎	浸水船の復原性	寺尾 進
航	村上 俊夫	不法行為における過失概念	小林 迪雄
機 機	石田 常夫 黒木 正	吸気運転時のうず巻ポンプの性能について	重川 亘
機	稲野 季隆	振り振動数、固有振動数の計算	山本 平彌 谷口 修弘
機 機	浦邊 和男 田島 潤	内燃機関の噴霧に関する測定	横山 雄三
機 機	及川 和郎 吉田 恵一	アンプリダインの特性	平野新太郎
機 機	狩野 昭一 廣松 学士	冷間加工材の異方性について	桑原儀三郎
機	藤井 孝	海上公害における油濁物の同一性の鑑識について	小川 勝
通 通	倉田 勝行 中平 和俊	電子計算機の基礎と応用	広田 直照
通	小松富士夫	オメガシステムの研究	遠藤 寛
通	杉田 勝美	双安定回路	黒木 慶平
通	野村 保美	電磁波におけるドップラー効果の原理と応用	荻野 芳造

第21期生

昭和49年度

課程	学生氏名	研究テーマ	指導教官
航	青柳 宏	ラートブルフの相対主義について	國司 彰男 廣瀬 肇
航 航	池田 修 巻木 秀美	カーフェリーの海難について	堀内 雅文 山田 章夫
航	池田 俊郎	過失犯の捜査	藤本 整司
航	井下田廣明	司法権独立の現状	大國 仁
航 航	一藁 勝 濱口 泰雄	シーアンカーについて	佐々木茂人 矢野 健爾
航 航	岩切 康 菅沼 高志	海上公害の規制について	藤本 整司 小西 孜

航	梅田 宣弘	油による汚染を伴う事故の場合における公海上の措置に関する条約	水上 千之
航	奥野 剛	ドイツにおける法律の錯誤	伊藤 寧
航	貞岡 良弘	定期船運賃の考察	金指 正三
航	重岡 卓巳	不法行為における過失概念	小林 迪雄
航 航	下房地敏之 麓 聖一	衛星航法	西野 朝生
航	友澤 博	組織管理	國司 彰男 廣瀬 肇
航	中尾 省三	自動車の輸出	金指 正三
航	中尾 洋一	不法原因給付における過失概念	小林 迪雄
航	那須 秀雄	捜査上の疑問点	藤本 整司
航	西田 克史	「いわゆる石油戦争」資源構造を解析する	金指 正三
航	日當 博喜	消費者主催－Consumer's Sovereignty－	金指 正三
航	三村 孝慈	行政指導（警告措置）	國司 彰男 廣瀬 肇
航	向田 昌幸	海難審判制度の考察	大國 仁
航	本内 正和	立入検査についての一考察	國司 彰男 廣瀬 肇
機 機	石井 和行 黒澤正三郎	アナログ計算機の作成及び動作	平野新太郎
機 機 機	石川 莊資 河合 美男 宮城 雄一	液体クロマト分析を中心とした油濁物中の油分鑑識に関する研究	小川 勝
機 機 機	小吹 秋良 武留井武男 山下 政晴	変圧器の突入電流	平野新太郎
機 機	片山 喜正 高橋 努	燃料噴射実験装置の製作	横山 雄三
機 機	河合 弘 木村 茂己	ダブルナットの機械的諸性質について	桑原儀三郎
機 機	島田 伸和 山本 崇志	吸気運転時の渦巻ポンプの性能について	重川 亘
通	池田 雅充	Cybenetical Control（サイバネテックス）	黒木 慶平
通 通 通	上岡 宜隆 高橋 章二 多米 啓司	ICオペアンプを用いた簡易型アナログ計算機の試作	内海 靖之
通	川西 剛伸	カウンタについての考察	遠藤 寛 竹中 康雄
通	倉重 吉範	逮捕と任意同行に関する考察	大國 仁
通	桑原 信也	超音波P.P.M.海中通信方式の検討	黒木 慶平 老松 建成
通 通	辻口 郁衛 西佐 古孝	一次相関量を用いた騒音中の周期検出	広田 直照
通	西野 慶龍	自己増殖そのサイバネテックス的考察	黒木 慶平
通	宮久保悦男	受信機（MS-4R-91A）の固有信頼度計算	林 清美

第22期生

昭和50年度

課程	学生氏名	研究テーマ	指導教官
航 航 航 航	石塚 照美 岩男 雅之 小森田重寿 吉武 憲治	汚濁調査法の研究（CODについて）	木佐木健之助 古室 雅義
航	伊藤 豊彦	「分散分析の理論とその応用」及び「線形計画法における双対問題」の研究	福田悌次郎 柴田 正秀

航	生方 章	法人格なき社団と組合との区別の基準	小林 迪雄
航	瓜生 晴彦	船舶衝突における過失	小林 迪雄
航	小川 泰治	人とその攻撃性	大國 仁
航	鍛冶 正寛	社会と人権の相克－捜査と裁判の関係から－	大國 仁
航	河原 功	可罰的違法性論と刑罰謙抑主義	大國 仁
航	神戸 史朗	考察－公務員－	小林 迪雄
航	沢井 弘保	海上交通行政をめぐる諸問題	國司 彰男 廣瀬 肇
航 航 航 航	後藤 法生 鈴木 勝義 松本 昌之 四十住初男	海上衝突予防法に関する研究	堀内 雅文 日下 明男
航 航 航	白武 文明 菅原 規之 間瀬 俊郎	模型船の旋回性能に関する基礎的実験	佐々木茂人 矢野 健爾 寺本 定美
航 航	中原 彰 山岡 泰也	イオン濃度計による水質分析の研究	歌代 慎吉
航 航 航	浜田 仁司 樋口 由幸 大和 秀一	航法計算のシステム化の研究	西野 朝生
航	平井 勉	公害差止請求の研究	小林 迪雄
航	堀池 雅夫	船舶設計	瀬之口 宏
航 機 機 機	前田 基幸 印牧 昭二 野田 茂	海上公害における油濁物中の油分の鑑識法に関する研究	小川 勝
機	有馬 哲	日本官僚制の研究	大國 仁
機	乾 敏明	薄板オリフィスの特性について	重川 亘
機 機	大西 勝也 村川 靖雄	燃料噴射実験	横山 雄三
機	新谷 孝二	疲労に関する研究	桑原儀三郎
機	星島 伸至	旧こじま主機トルク曲線の解析	山本 平彌 谷口修弘
機	三橋 守	液位の自動制御	山本 平彌 谷口 修弘
機 機 通	今泉 直弥 野中 英介 山川 孝之	海上交通流の解析	平野新太郎
通	市場 静男	音声情報の処理について	谷村聖二郎
通 通	小川 哲也 増田 尚道	インターフェースの研究	広田 直照
通 通	倉地 薫 八木隆一郎	FM-CWレーダーでのビート信号計数における精度と階段誤差の改善	荻野 芳造 竹中 康雄

第23期生

昭和51年度

課程	学生氏名	研究テーマ	指導教官
航 航	阿部 直之 富崎 直仁	セサミストリートに於ける英語	猪上 良浩
航 航 航	岩本 利幸 正野崎 稔 吉田 浩平	実況見分	亀尾 尚男
航	及川 昇	過失（船舶過失における注意義務の構造）	大國 仁
航	大内 勝美	量子論における因果性と偶然性	相良 五朗 辰野 忠夫

航	甲斐賢一郎	近代日本憲法小史	大國 仁
航	崎山 学	転覆船の解析	矢野 健爾
航 航	西田 寛 濱岡 祐一	呉におけるオメガP.P.C表の作成及び考察	西野 朝生
航	堀田 省吾	船舶事故と過失責任	大國 仁
航	眞嶋 洋	環境基準の性格－公害規制に関連して－	小西 孜
航	三木 基實	目的々行為論における行為概念	伊藤 寧
航	山口 晴久	過失の内容をなす注意義務の特定について	大國 仁
航	山本 裕一	酒と犯罪	大國 仁
航 航 機 機 機	木田 祐二 酒瀬川清行 早坂 豊 若佐 守男	海洋における油污防止に関する研究（流出油中のV分及びNi分の分析）	小川 勝
航	鈴木 良孝	即時強制に関する一考察	廣瀬 肇
航	松田不二夫	行政とLeadership－行政のLeadership論的考察について	國司 彰男 廣瀬 肇
機 機	代市 修 本間 静雄	ボルト接合物における締め付けトルクとその影響	大洲 隆治 谷口 修弘
機 機	瀬戸口弘行 松尾 啓三	空気式ノズルフラップの特性	大洲 隆治 谷口 修弘
機	高橋 直嗣	小型単筒4サイクルディーゼルエンジンの過渡特性	横山 雄三
機	仲尾 省吾	Vertrauensgrundsatz－道路交通法事犯におけるその意義－	大國 仁
機 機 機	中野 雅彦 松下 博志 森脇 勝男	マルコフ連鎖による船舶交通流の解析	平野新太郎
機	野中 真治	海洋汚染と生物指標	木佐木健之助
機	花見 辰雄	ビッカース硬さ異方性の応用	桑原儀三郎
通 通	飯野 茂 野中 倫仁	ミニコンピュータのコンパイラについて	林田 秀人
通	越智 均	処理された音声品質と帯域圧縮の研究	老松 建成
通	穂地 正臣	トランジスタの物性	黒木 慶平
通	河村 武男	営造物設置・管理行為と差止請求の可否（大阪空港訴訟を中心として）	國司 彰男 廣瀬 肇
通	佐藤 雄二	企業と社会（アメリカにおける大企業体制）	大國 仁
通	高橋 裕一	ハーマン・メルビル作「前橋楼員、ビリー・バッド」についての考察	糸藤 洋
通	船越 利忠	FFT（高速フーリエ交換）のアルゴリズムについて	林田 秀人
通	渡部 明宏	レーダー反射断面積の簡易測定法	荻野 芳造 竹中 康雄

第24期生

昭和52年度

課程	学生氏名	研究テーマ	指導教官
航	青山 英樹	捜査指揮	亀尾 尚男
航	岩本 利幸	ふたば丸・グレートビクトリー号衝突事件	亀尾 尚男
航	宇和川 淳	女性を被害者とする医療事故についての一考察	小林 迪雄
航 航 航 航	江口 藤昭 黒木 喜年 新城 達郎 不嶋 和久	船の加減速運動推定に関する研究	寺本 定美
航 航 航 航	恩田 隆 合田 嘉男 下野 哲裕 野田 政宏	海上交通法規の研究	日下 明男

航	川名 一徳	責任能力なき未成年者の不法行為について	小林 迪雄
航	末廣 孝夫	立入検査の法理とその限界	國司 彰男 廣瀬 肇 村上 暦造
航	鈴木 洋	第拾雄洋丸・パンフィックアリス号衝突事件に関する考察	小林 迪雄
航	長井 康陽	大学校ボンツー付近のブランクトンについて	木佐木健之助
航 航	長澤 安純 御池 俊郎	FPDによる原油・重油の識別	歌代 慎吉
航	長島 久之	ソビエト国際法に対する基礎的考察	國司 彰男
航	二村 泰憲	公害防止事業の事業費負担金について	村上 暦造
航	野村 昌志	青少年犯罪について	亀尾 尚男
航	日向野隆夫	「公共の福祉」による労働基本権の規制	大國 仁
航 航	福井 守也 山口 正記	海上衝突予防システムについて	西野 朝生
航	前久保勝己	公害防止協定の概要と性格	村上 暦造
機 機 機	精松 昭夫 下西 和深 松島 史典	自然対流に関する研究－小型タービンの性能に関して－	力安 貞直
機 機	稲田 敏樹 田辺 哲朗	低電圧におけるトラッキング破壊	永吉 甫
機 機	児玉 俊一 藤井 俊樹	ボルト結合部の減衰能に関する研究	谷口 修弘
機 機	中村 清 楢原 義則	不定形三次元オリフィスの流量係数について	重川 亘
機 機 機	野口 修 畠中 宏之 平松 哲朗	海上流出油の分析方法に関する研究	小川 勝
通 通	秋保 英也 山本 未晴	コンパイラ	広田 直照
通	谷 義弘	港則法における工事等の許可について	國司 彰男 廣瀬 肇
通	永石 節生	特殊関数（主としてラプラス変換とフーリエ級数）の研究	福田悌次郎
通 通	久野 敦司 三宅 宏明	パターン認識	黒木 慶平
通	毛利 行雄	処理された音声の品質と帯域圧縮の研究	老松 建成
通	山並 豊	永小作権について	小林 迪雄

第25期生

昭和53年度

課程	学生氏名	研究テーマ	指導教官
航	今泉 豊光	公害罪法における推定規定について	村上 暦造
航 航	遠藤 和幸 中村 貴人	シーパースの防災について	森 明三郎
航 航	大久保安宏 山本 隆文	呉湾における富栄養化の研究	木佐木健之助 古室 雅義
航	加賀谷尚之	違法な証拠物件の捜査と証拠能力との関連	大國 仁
航 航 航 航	佐々木 朗 中川 高史 長谷川秀己 浜中 崇典	レーダー航法の研究	西野 朝生
航	澤木 純一	被疑者の取調と最高裁	大國 仁
航	時枝俊次郎	呉におけるオメガPPC表の作成	西野 朝生
航	長嶋 貞曉	一般均衡理論一解の存在について	柿元 純男

航 航	藤井 康志 藤森 正仁	British Shipping Lawの翻訳	日下 明男
航	増田 正人	船体動揺理論	佐々木茂人
航	村田 織彦	ドイツ刑法学の若干の考察	伊藤 寧
航 機	藤井 寿夫 張間 施門	ビルジの分析	歌代 慎吉
航 機 機 機 通	太田 幸利 中林 俊彦 細川 俊章 宮本 泰博 沼田 一博	海上公害油濁物の識別手法に関する研究	小川 勝
航 航 航 航 航 通	菊井 大蔵 當間 寿 中島 敏 松尾 映正 松本 宏之 野見山慎吾	アメリカ合衆国コーストガード組織マニュアル (CG-229)	國司 彰男 廣瀬 肇 村上 暦造
航 通 通	小林 正幸 谷延 京一 村上 正二	自己組織システムの研究	黒木 慶平
機	泉 昌宏	ボルト結合部の静特性	谷口 修弘
機 機 機	金安 宏二 平野 隆 吉川 滋	三相マクマリーインバーターによる誘導電動機の運転	平野新太郎
機 機	木原 克己 倉田 芳明	自然対流に関する研究	力安 貞直
機 機	小泉悦次郎 吉田 肇	高速機関用ねじり振動ダンパーの特性について	東伊 一郎
通 通	伊藤 直美 米原 達夫	マイクロコンピュータのソフトウェアとその応用 (クロスアセンブラについて)	広田 直照
通 通	坂榮 雅之 堀部 健二	超音波の海中伝送について	老松 建成
通	澤口光資郎	自動車損害賠償法第3条における「自己のため自動車を運行の用に供するもの」	小林 迪雄
通 通	滝 良伸 宮崎 章次	音声情報処理に関する研究	谷村聖二郎 竹中 康雄

第26期生

昭和54年度

課程	学生氏名	研究テーマ	指導教官
航	赤津 洋一	H.R.Kaplan & J.F.Hunt, THIS IS THE COAST GUARD の抄訳	猪上 良浩
航 航	秋本 茂雄 脇園 隆明	オートパイロットのシミュレーション	長澤 明
航 航	池田 晃康 渡邊 泰夫	呉湾の低質の研究	木佐木健之助 古室 雅義
航 航	井手淳二郎 小柳 吉彦	英国海事法の解釈 (マースデン抄訳)	日下 明男
航	今井 丈二	目標物の探知に関する理論	佐々木茂人
航	大久保良一	包括一罪の考察	大國 仁
航	黒田 敏幸	線型計画法及び本科学学生寮食堂における栄養問題の最適化	柿元 純男
航	佐藤 清隆	マクロ経済学の研究	柿元 純男
航	長谷川義明	ネルソン時代の海上生活 (翻訳)	日下 明男
航	福島 基記	観念的競合における行為の個性について	大國 仁
航 機	檜垣 幸策 船越 良行	海上権力と海洋法(Sea Power and the Law of the Sea)	國司 彰男 廣瀬 肇

航機機	宮尾 努 松谷 巧 渡邊 幸夫	海上公害油濁物の識別手法に関する研究	小川 勝
機	井上 雅英	自動平衡計器の研究（温度制御装置において検出端に付着物がついた場合の最適制御について）	谷口 修弘 水口 文洋
機機	栗原 洋治 札埜 卓也	加工硬化と転位について	桑原儀三郎
機機	高橋 正一 松田 康夫	McMurray Inverter による交流電動機の駆動について	平野新太郎 坂本 勇 永吉 甫
機	馬場 優	実験計画法－ブロック計画の配置の理論－	福田悌次郎 桑田 正秀
機	八木 博志	気泡核の生成機構に関する研究	力安 貞直
通通通	梶原 正憲 鈴木 敏弘 砂坂 俊郎 中嶋 哲雄	磁気共鳴装置の製作実験	林田 秀人 竹中 康雄
通通	白澤 潔 砂田 又司	周波数シンセサイザ	谷村聖二郎
通	徳永 裕之	各種指向性を持つ送波器による水中通信のマルチパス効果について	老松 建成
通	横林 康裕	ドイツ刑法学における行政犯概念について－R・ランゲ「軽罪としての秩序違反行為」を中心として－	伊藤 寧

第27期生

昭和55年度

課程	学生氏名	研究テーマ	指導教官
航航	上野 俊樹 久門 洋一	船の横揺れと波の同調について（付練習船「こじま」の同調横揺れ）	瀬之口 宏
航	鏡 信春	呉湾の底質の研究	木佐木健之助 古室 雅義
航航	沢口 啓三 田中 弘之	Teaching Method of Astro-Navigation in Dutton's Navigation & Piloting & Admiralty Manual of Navigation	嶋田 和治
航	中村 耕一	海上衝突予防法の研究－FARWELL'S RULES OF THE NAUTICAL ROAD抄訳－	日下 明男
航	濱川 喜亘	行政指導の問題点（司法行政を中心として）	國司 彰男
航	廣嶋 彰	国際法と国内法との関係（国内的効力について）	廣瀬 肇
航	山崎 和仁	「海上保安官による職務質問の法理」－警察官が行った場合の判例を媒介として－	村上 暦造
航	福嶋千太郎	公訴権濫用論について	大國 仁
航	宮野 直昭	捜査における事件単位の問題	大國 仁
航	吉岡 龍誠	捜索理論の研究	高橋 勝
航通	木本 弘之 小島 良二	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第16条と水質汚濁防止法第12条の適用関係	大國 仁
航通	三角 資嗣 河野 良雄	The Coast Guardsman's Manual, The Sixth Editionの翻訳	猪上 良浩
機	井上 久由	無限級数と一様収束	宮下 熊夫
機	大根 潔	ボルト結合部の振動特性	谷口 修弘 水口 文洋
機	尾辻美津郎	水平管内流れの研究	力安 貞直
機	酒井 郁生	承諾による捜索差押について	大國 仁
機	清水 弘昭	McMURRAY INVERTER	平野新太郎 坂本 勇
機	中西 良次	電子計算機による高速ディーゼル機関クランク軸系ねじり振動の研究	東 伊一郎
機機	浜田 利之 中西 良次	マイハック型インジケータの動特性の研究	横山 雄三
機機	平野 富男 山本 得雄	鋼の切欠脆性について	桑原儀三郎

機	八木 仁	Graph Theory and Mathematics of Games	栗田 正秀
機	藪井 隆	所持品検査についての一考察	大國 仁
通	岩並 秀一	計算機シミュレーションによる神経回路網モデル、コグニトロン解析	黒木 慶平
通	川口 宏好	マイクロコンピュータを用いた高速フーリエ変換（波形解析）について	広田 直照
通	鈴木 啓之	呉におけるオメガ電波の伝搬異常について	西野 朝生
通 通	平田 友一 松藤 四朗	海上流出油分同定識別のためのSimulationに関する研究	小川 勝

第28期生

昭和56年度

課程	学生氏名	研究テーマ	指導教官
航	池崎 哲朗	体液採取の問題点	大國 仁
航 航 航 航	伊藤 浩春 松井 裕 宮里 一敏 山田 高義	英国海軍における航海学の研究(訳書ADMIRALTY MANUAL OF NAVIGATION)	西野 朝生
航 航 航	岩本 一夫 柿木有多賀 福谷 幸資	海難捜索理論	野田 昌資 高橋 勝
航 航 航 航	榎本 猶一 神原 昌彦 佐藤 至 松村 信之	海上保安庁所属巡視船艇の操縦性能の解析について	池田 英治 寺本 定美
航	大岩 靖明	「刑事訴訟法第220条に言う“逮捕の現場”の意義」	大國 仁
航	奥島 高弘	海上における反則金制度導入についてー海洋法条約批准に関連してー	國司 彰男 廣瀬 肇 村上 暦造
航	奥原 徳男	新海洋法条約におけるボンド制度と反則金の導入について	
航	川上 直実	海上保安官の行う立入検査と日本国憲法第35条	
航	甲斐 小二	ネルソン時代の英国海軍一兵士の体験記「ジャックナスティフェイス」について	日下 明男 西野 朝生
航	上河内信義	海上衝突予防法の研究(FARWELL'S RULE OF THE NAUTICAL ROADの抄訳)	寺本 定美
航	近藤 悦広	ドイツ刑法における危険概念	伊藤 寧
航	永山 哲弘	海洋汚染に対する国際的動向と我が国の対処	國司 彰男 廣瀬 肇 村上 暦造
航	三國 利弥	捜索差押えの範囲に関する判例研究	大國 仁
航	宮地 拓也	違法収集の証拠	大國 仁
航 航 機 機 通	池田 博美 比石 伸一 渡邊 晃久 布田 靖彦	THE COAST GUARDSMAN'S MANUAL Sixth Edition, United States Naval Institute Annapolis, Maryland, 1976の翻訳	猪上 良浩
航 機 通	今井純一郎 成瀬 永年 山本 淳	グラフィック・ディスプレイのサブルーチンの作成	長澤 明
機 機 機 機 機	木村 和雄 佐々木重典 末田 和也 立山 雄三 中村 公亮	海上排出ビルジ中の潤滑油添加剤の分離・識別に関する研究	小川 勝
機	児玉 光剛	公共の福祉概念についての一考察ー公安条例を題材としてー	國司 彰男 廣瀬 肇 村上 暦造
機 機	田中 聡史 辻 久智	回転軸の特性について	水口 文洋
機 機	坪上 浩治 吉竹 孝仁	蒸気爆発の基礎研究	力安 貞直

機	中村 光男	ラプラス変換	栗田 正秀 徳弘 敦
機 機	中山 泰 野田 耕治	乳化燃料使用によるディーゼルエンジンの性能変化について	横山 雄三
機 機	廣瀬 洋介 福壽 弘芳	疲れ試験	桑原儀三郎
通 通	加納 恵二 末吉 安典	複素函数の積分法 コーシーの積分定理	宮下 熊夫
通	菊地 宗幸	音響信号からコントロール（電圧制御）信号への変換	谷村聖二郎
通	永野 将之	磁気共鳴装置の製作Ⅱ	林田 秀人
通	宮崎 一巳	海上保安官の協力要求権の発動に伴う損失補償について	國司 彰男 廣瀬 肇 村上 暦造
通	森部 賢治	テレビ受信用アンテナについて	内海 靖之

第29期生

昭和57年度

課程	学生氏名	研究テーマ	指導教官
航	上野 純司	巡視船の反転惰力について	寺本 定美
航	下郷建之祐	無害通航と領海における沿岸国の権限	長田 祐卓
航 航	下野 浩司 星 男澄	救難捜索評価モデルに関する研究	高橋 勝
航	鈴木 浩久	拡大する沿岸国管轄権の形成過程における考察ー特に排他的経済水域に至るまでー	長田 祐卓
航 航 航	花井 一浩 南 雄晴 梁池 徹	廃油ボールの生成と識別に関する研究	小川 勝
航	満永 政幸	国際海峡の通航制度	長田 祐卓
航	山田 孝雄	深海底制度をめぐる法制度と新国際社会	長田 祐卓
航	山本 裕二	ORのための基礎数学理論	徳弘 敦 宮下 熊夫
航 機	垣田 雅人 竹野 次郎	海上交通の基礎的要因ー特に閉塞領域の抽出についてー	長澤 明
航 機	豊蔵 俊雄 中村 明	任意同行と逮捕の限界	大國 仁
航 機	福井 孝之 太田 吉一	U.S.COAST GUARD AUXILIARY BOATING SAFETY（アメリカ合衆国沿岸警備隊補助隊による小型船舶安全対策）	國司 彰男 廣瀬 肇 村上 暦造
航 機 機	福島 武人 川上 芳朗 紀野 重幸	産業廃棄物中に含まれる有害物質（六価クロム化合物）の分析に関する研究	木佐木健之助 古室 雅義
航 航 通	五反田和久 三浦 兼 及川 誠	救難用方位測定局からのデータによる最確船位決定法	竹中 康雄
機 機	池田 善彦 木場 誠也	ポケットコンピュータによる漁業水域におけるソ連漁船の立入り検査援助ソフトウェアの開発研究	横山 雄三
機 機	古賀 義文 藤田 圭造	放射線の計測	藤田 正実
機	田島 龍助	RHEINLAND-PFALZ UNSURE POLIZEI ドイツ・ラインラント・プファルツ州警察	國司 彰男 廣瀬 肇 村上 暦造
機 機	勢良 俊也 浜野 輝久	水蒸気爆発の研究	力安 貞直
通	甲斐 廣	自己組織回路の研究	黒木 慶平
通	古堅 慶太	磁気共鳴装置の製作Ⅲ	林田 秀人

第30期生

昭和58年度

課程	学生氏名	研究テーマ	指導教官
航	伊藤 裕康	海上交通に関する基礎的要因の解析－幾何学的モデルによる衝突確立について－	長澤 明
航	尾崎 正宏	船体の運動について（操縦性能基準の展望）	不島 元節
航	土屋 元伸		
航	廣木 克匡		
航	鹿庭 義久	自由の拘束と取調べとの関連－別件逮捕拘留を中心として－	大國 仁
航	佐々木幸男		
航	工藤健太郎	救難防災事件における意志決定の方法について	矢野 健爾 加島 政憲 高橋 勝
航	渡邊 潤子		
航	近藤 賢二	「産業廃棄物中の有害物質の分析に関する研究（水銀分析）」	木佐木健之助 古室 雅義
航	澤田 政司	海上交通に関する基礎的要因の解析－船舶の到着時間分布について－	長澤 明
航	嶋村 秀人	巡視船の操縦性能の解析	池田 英治
航	豊田 力		
航	中島 利文	船舶に対する実力の行使について－外国における事例より－	廣瀬 肇
航	松鶴 協		
航	中村 博通	海上交通に関する基礎的要因の解析－避航のアルゴリズムとシミュレーションについて－	長澤 明
航	米川 弘晃	海上交通に関する基礎的要因の解析－横切り時の避航実態について－	長澤 明
航	三矢 哲司	混合油の識別に関する研究	小川 勝
航	山本 忠昭		
機	秋好 晋		
機	豊嶋 治貴		
機	糸井 一幸	シミュレーションによる伝熱解析	力安 貞直
機	古川 正敏		
機	中村 天	船舶の衝突に関する研究	水口 文洋
機	濱本 俊幸		
機	星野 誠		
通	栗井 次雄	マイクロコンピュータMP-85を用いたアセンブラによる物理計測プログラミング	小俣 一郎
通	稲垣 好則	磁気共鳴装置の製作IV	林田 秀人
通	松下 淳二		
通	前田 和俊	南極の法的地位－その現在と将来－	長田 祐卓

第31期生

昭和59年度

課程	学生氏名	研究テーマ	指導教官
航	阿部 和嘉	航行不能大型タンカーの船体運動と残存操縦性能について	不島 元節
航	磯邊 博幸	広島地方の天気俚言	杉本喜一郎
航	塚田 毅史		
航	渡部 一夫		
航	一本木幹雄	合衆国コーストガードのLaw Enforcementについて	廣瀬 肇 村上 暦造
航	遠山 純司		
航	七浦 弘幸		
航	廣田 明彦		
航	今井 徹	曹操について	小川 泰生
航	梅津 隆弘	海上交通の基礎的要因について－船舶が占める領域についての考察	長澤 明
航	葛西 正記	The Coast Guardsman's Manualの研究	嶋田 和治
航	若林 邦芳		
航	川本 清治	現行犯の要件とその認定	大國 仁
航	佐名 信治	錨の把駐力について	片岡 勝之 池田 英治 寺本 定美
航	廣川 隆		
航	前田 裕康		
航	篠崎 雅由	巡視船の船体振動	池田 英治
航	田代 英己		
航	花井 宏泰		

航	白澤 武馬	日中海上保安制度比較論	小川 泰生
航 航	田原 稔啓 柳田 誠治	1982年に中国で開催された海上衝突予防規則に関するゼミナールでの講演について	日下 明男
航	出合 好美	一罪一拘留の原則	大國 仁
航 航	矢野 秀樹 山田多津人	産業廃棄物中に含まれる有害物質の分析に関する研究（六価クロム、シアン化合物）	木佐木健之助 古室 雅義
航 機	花村 幸宏 山田 昌弘	麻薬の分析に関する研究	木佐木健之助 古室 雅義
航 航 機 機 機 通	早川 知樹 藤井 伸弘 富士 久人 山地 哲也 川口 修	U.S. コーストガードの研究	漆川 和昭
機 機 機 機 機	相澤 孝典 川俣 直己 土師 亮 日根 実	油類微量迅速、高精度識別方法の研究	小川 勝
機	餐場 秀行	自己組織回路のパソコンによる研究	黒木 慶平
機	梶山 裕司	パーソナルコンピュータによる物理計測の基本的技術の研究	小俣 一郎
機 機	木津 直樹 宮下 悟	炭素鋼の破壊強度について	加島 政憲 上穴 光明
機	松田 毅	境界要素法によるねじり解析－沈みキーの応力解析－	水口 文洋
通	岩永 和重	磁気共鳴装置の製作Ⅴ	林田 秀人
通	大藪 博司	レーダ搜索における有功搜索幅の決定法	竹中 康雄
通	森田 勇	日本におけるおとり捜査	大國 仁

第32期生

昭和60年度

課程	学生氏名	研究テーマ	指導教官
航	秋山 寛治	令状によらない搜索差押	大國 仁
航 航 機	揚野 寛治 江口 満 玉越 哲治	太平洋沿岸諸国における海上保安制度について	漆川 和昭
航 航 航	池田 聡 瀧澤 幸弘 成田 剛一	搜索努力の最適配分に関する研究	高橋 勝
航	一條 正浩	力学における二体問題の解法とその応用	徳 弘敦
航 航 航	伊藤 敦 近藤 寿克 原田 樹佳	Dutton's Navigation and Pilotingについて	嶋田 和治
航 航 航	犬藤 学 宮本 順之 山地 成夫	操船不能な巨大タンカーの漂流について	不島 元節
航	黒石 積	“Collision Cases-Judgment and Diagrams”の翻訳	日下 明男
航	桑原 京子	存現文における主語に関する考察	小川 泰生
航	瀬口 良夫	特殊正角緯度について	杉本喜一郎
航	忽田 泰氏	特殊司法警察職員制度の問題と海上保安官	大國 仁
航	丹下 博也	「平和を脅かすもの」の翻訳・研究	廣瀬 肇 村上 暦造 長嶋 久之
航	野口 昌幸	海上における衝突海難の実態と考察	片岡 勝之
航	野間 清隆	転覆海難救助に関する研究	池田 英治 高橋 勝
航	松末 武史	「THE LIFE & ADVENTURES OF JOHN NICOL MARINER」の翻訳	日下 明男

航	村上 直隆	海上交通の基礎的要因について、船舶が占める領域（避航領域）についての考察	長澤 明
航	本山 祐一	ソ連の世界戦略と大戦略の概要	井上 研二
航 機	増田 克樹 金瀬 聡	覚せい剤の分析に関する研究	木佐木健之助 古室 雅義
航 通	井川 哲雄 土屋 康二	神経回路と自己組織化の計算機シミュレーションによる実験	黒木 慶平 山本 哲雄
機 機	石下谷 格 谷川 正章	一般相対性理論の力学	藤田 正実
機	江口 圭三	現代社会における政府の役割について	下村 輝久
機 機 機 機	加瀬 和浩 坂本 義人 前田 光洋 森 徹也	燃料噴射率の測定	横山 雄三
機 機	加藤 一郎 加藤 守俊	物体後流の渦発生に関する研究	力安 貞直
機	君島 幸二	海上流出油の識別手法に関する研究	加島 政憲
機	小阪 元成	罪刑法定主義の再検討－英米法の観点より－	甲斐 克則
機	森 征人	アメリカ行政法についての一考察－経済活動に対するregulatory enforcementを中心として－	廣瀬 肇 村上 暦造
機 通	齊藤 浩司 松尾真一郎	瞬時S/N比概念の導入と特定音源評価問題	坂本 勇 山口 静馬
通	小野寺正則	ソ連邦における民族問題	井上 研二
通	川下 弘	スターリンの遺産	井上 研二
通	藤本 裕之	COSPAS/SARSAT	谷村聖二郎
通	細野 雄二	マイクロエレクトロニクスの研究	竹中 康雄
通	前川 伸夫	監獄法改正の経過とその問題点－刑事留置施設を中心として－	大國 仁
通	山上 優子	日ソ領土問題をめぐる対ソ外交のあり方	井上 研二

第33期生

昭和61年度

課程	学生氏名	研究テーマ	指導教官
航	有馬 雄一	明治維新の社会的・経済的側面の考察	甲斐 克則
航	岩澤 博	新株の第三者割当について	片山 信弘
航	上坂 義之	ARPAに関する国際基準の発展の経緯とその背景について	嶋田 和治
航 航 航 航	大久保隆洋 野久保 薫 野田 武史 福田 公爾	ディファレンシャルオメガの研究	西野 朝生
航	大野 文也	ソ連の安全保障と軍事力について	井上 研二
航	久留 利彦	刑法の場所的適用範囲の考察	甲斐 克則
航	佐々木峰雄	ゴルバチョフ政権の試練－ソ連経済を立て直すために－	井上 研二
航	鹿田 貴嗣	操縦不能な巨大船の漂流実験について	不島 元節
航 航	末川 明裕 東城 英雄	麻薬及び覚せい剤の簡易識別法について	木佐木健之助
航	相馬 淳	巡視船の追波中の復原性について	日當 博喜
航	高橋 敏宏	戦後の日本経済の検討と今後の日本経済	甲斐 克則
航 航 航	高橋 亮司 手取屋浩美 羽山登志哉	搜索努力の最適配分に関する研究	高橋 勝
航	永家 邦幸	日本における社会精神の一考察	甲斐 克則
航	原田 秀穂	Dutton's Navigation and Piloting －電子技術の発達と船舶の自動化－	嶋田 和治
航	原田 正彦	ギリシャ神話と星の固有名の意味	嶋田 和治
航	安尾 博志	海上交通の基礎的要因について－船舶の占める領域（避航領域）についての考察－	長澤 明

航 航 機	榎本 雄太 戸ノ崎博宣 西田 学	捜査の違法と証拠の許容性	大國 仁
航 機	加藤 太介 尾崎 博治	海上保安官の武器の使用についての考察	廣瀬 肇
航 機 機	杉浦 毅 飯野 勇 白石 昌己	海上流出油の識別手法に関する研究	加島 政憲
航 機	長嶋 博之 山本 雅司	韓国の中央行政組織（警察制度）	清水 徳之
航 航 機	前田 直喜 三柳 裕二 佐藤 孝史	簡易水質分析器（バックテスト）の検討	木佐木健之助 古室 雅義
機	海野 健二	青少年保護条例の研究	甲斐 克則
機	岡部 敦彦	「英国の船乗りウィリアム・リチャードソン伝」の翻訳	日下 明男
機	小野 有司	海洋環境汚染に対する国家責任	長島 久之
機 機	木下 敏和 島谷 邦博	冷凍装置の製作及びその性能について	島田 伸和
機	佐藤 貴浩	減筒運転におけるねじり振動の与える影響	水口 文洋
機 機	田代 聡 田村 俊昭	探索理論の研究	高橋 勝
機 機	尼寺 方子 福山 孝輝	船舶浸水モデル実験とシミュレーション	横山 雄三
機	廣津 健一	ソ連の外交戦略	井上 研二
機	松村 徹	カルマン渦に関する研究	力安 貞直
機	吉満 明広	危険犯に関する一考察	甲斐 克則
通	小池 貞利	現代中央集権型計画経済の展望と西側市場経済体制との優劣について	井上 研二
通	笹原 昇	パソコンの制御手法について	山本 哲雄
通	林 利幸	可罰的違法性論に関する一考察	甲斐 克則
通	前川 友孝	神経回路の自己組織化	黒木 慶平 山本 哲雄
通	吉永 龍也	ソ連の脅威	井上 研二

第34期生

昭和62年度

課程	学生氏名	研究テーマ	指導教官
航	井上 竜宏	CA I 型航海灯シュミレーションプログラムの開発	日當 博喜
航	奥 康彦	船舶運航中の避航操船時における危険性の定量化－Fuzzy推論の導入－	長澤 明
航	上村 干城	油タンカー、バラ積船等各種船舶にかかる積付計算機を利用した軽荷状態等各コンディション時における最適積付に関する考察について	不島 元節
航	河野 優	「Pictorial History of AmericanShips」の翻訳	日下 明男
航	勘木和香子	Communicationにおける発話に影響を及ぼす要素について	中村 裕昭
航	竹内 行広	韓国業務会話（立入検査及び取調べ）	清水 徳之 赤津 洋一
航	丹羽 哲	大規模構造物による海洋空間利用開発について－開発に向けての問題とその検討－	村上 暦造
航	濱平 清志	刑事責任の基礎づけに関する一考察－意思自由論をめぐる論争を契機として－	甲斐 克則
航	村田 潔	ラティス・テーブル作成によるデッキシステムの利用方法に関する研究	西野 朝生
航	村松 一昭	漂流物の計算位置と実験位置との誤差についての解析	高橋 勝
航	渡邊 保範	音戸の瀬戸の潮流について	野口 岩男
機	會田 賢仁	英書「AMariner of England」の翻訳	日下 明男
機	内村 匡宏	THE AIRCRAFT GAS TURBINE ENGINE AND ITS OPERATIONの翻訳	横山 雄三
機 機	小倉 修一 中嶋 雅昭	船舶機関騒音の評価量計測誤差に関する統計的考察	山口 静馬

機	貞富 司	エントロピーと生命	茂木 博
機	城臺 寛	刑法における管理・監督責任	甲斐 克則
機	平田 知之	電熱の基礎実験	力安 貞直
機	宮本 伸二	酸化鉄表面におけるリンの吸・脱着に関する研究	木佐木健之助 古室 雅義
機	藤田 義行	円筒容器の中の音波	藤田 正実
通	天辰 弘二	神経回路における自己組織化とそのモデルにおけるシミュレーション	黒木 慶平
通 通	田村 安正 渡邊美恵子	橋によるレーダー偽像発生の予測について	竹中 康雄
通	西本 和博	位相空間	宮下 熊夫

第35期生

昭和63年度

課程	学生氏名	研究テーマ	指導教官
航	伊藤 卓郎	行政裁量と司法審査	廣瀬 肇 村上 暦造
航 航	大河内克朗 小野 和哉	アメリカ合衆国における海上航行規則の研究	松本 宏之
航	田中 遊	避航における意思決定のモデル化	長澤 明
航	塚崎 稔男	ドイツ自由青年運動のナチズム化過程に関する研究	松生 建
航	堀井 和也	応力計算機によるオペレーション	不島 元節
航	山口 耕一	政策決定過程の分析枠組の考察	松田不二夫
航 機	南條新一郎 千田 亨	National Search and Rescue Manual和訳及び有効搜索幅に関する研究	高橋 勝
航 通	彼末 浩明 西分 竜二	海上保安大学校と韓国海洋大学との比較研究	清水 徳之
機 機	内山 伸哉 立岡 健司	内燃機関の動特性の研究	横山 雄三
機	恵谷 修	過激派研究	廣瀬 肇 村上 暦造
機	荻野 和之	量刑事情と刑罰の基礎づけに関する一考察	甲斐 克則
機	川越 功一	海難救助義務の不履行により生ずる国の損害賠償責任	廣瀬 肇 村上 暦造
機	佐藤 友保	騒音評価量について	山口 静馬 倉本 和興
機	菅生 貴繁	超伝導（BCS理論）	川本 宏
機	田嶋 亮子	浮流油同定のための赤外線吸収とけい光分光の適用について	加島 政憲
機	徳永広由己	QC活動とその適応性	松田不二夫
機 機	戸村 鋭治 中田 光昭	軸対称噴流の速度分布の測定	島田 伸和
機 機	林 博之 宮本 勝通	境界要素法によるキー溝付軸（中空）のねじり解析	水口 文洋
機	松川 勝紀	患者の自己決定権の刑法上の意義と限界	甲斐 克則
機	森本 和博	「GUNS AT SEA」の翻訳	日下 明男 西野 朝生
通	倉田 雄二	海中通信における幾つかの通信方式の評価	桑原 信也
通	高山 利華	両端独立変調形パルス一変調の実験的考察	老松 建成
通 通 通	櫻井 勝利 萩中 広樹 畑口 一樹	磁気共鳴装置の政策VI	林田 秀人
通	筒井 直樹	測定用無響水槽における超音波の伝搬特性について	桑原 信也
通	久田 隆弘	システムズ・アナリシスとその応用	松田不二夫
通	山本 誉	公訴権濫用論－特に違法捜査との関連において	大國 仁